

令和元年度

ステージラボ

～公共ホール等企画運営ワークショップ～

事業報告書

一般財団法人 地域創造

はじめに

一般財団法人地域創造では、地域における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりを目的として、地方公共団体等との緊密な連携の下に、財政支援、研修・交流、情報提供、調査研究などの事業を実施しております。

地域の文化・芸術活動を担う人材の育成に取り組む「研修交流事業」として、財団設立当初から実施している公立文化施設の職員に向けた「ステージラボ」や、市町村長や文化政策担当者に向けた研修があります。

公共ホール・劇場等の運営に当たっては、『施設』、『活動』、『人的資源（人材、組織、職能）』の3要素が一体不可分なものとして、相互にバランスよく結びついて存在しなければなりません。『活動』を支える『人的資源』の確立という課題に対して、地域における文化・芸術の創造拠点となる公共ホール・劇場等及び地方公共団体の職員のスキルアップやネットワークづくりを目指して実施する研修交流事業が「ステージラボ」です。

「ステージラボ」では、初任者に向けた入門コースや、事業企画に取り組む職員に向けたジャンル別の自主事業コースなど、職務内容や経験年数に応じた実践的研修コースを複数実施しています。各コースのまとめ役となるコーディネーターを、文化・芸術分野での現場経験が豊富な実務家に委嘱し、講師と参加者のコミュニケーションを大切にした双方向型の研修プログラムを作成しています。セミナー、グループ討論、ワークショップ等で構成され、特に実演家による芸術体験ワークショップが充実しています。また、先進的な取り組みを行う公立文化施設を会場として開催し、全国各地との交流を図っていることも特徴のひとつです。

令和元年度は、6月に富士見セッション（富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ（埼玉県富士見市））、2月にいわきセッション（いわき芸術文化交流館アリオス（福島県いわき市））を開催しました。また、例年秋に、地域創造事務所で開催していた「ステージラボ 公立ホール・劇場マネージャーコース」をいわきセッションの1コースとして開催しました。富士見セッション41名、いわきセッション44名という多くの方々が全国から参加し、現在抱えるそれぞれの課題の共有や、検討を共におこないました。

本報告書では、令和元年度に開催した富士見セッション、いわきセッションの実施状況を報告します。

最後に、事業開催にあたりご協力をいただいたコーディネーター、講師、開催館、ご共催いただいた富士見市、いわき市ならびにその他関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

目次

〈本文中の社名、所属、役職等は、事業実施時点のものです〉

I 事業概要	
1 事業概要	3
2 開催実績	4
3 都道府県別参加者数	8
II 令和元年度事業	
1 事業概要	11
2 参加者の属性	12
3 コーディネーター・講師一覧	14
4 スタッフ一覧	16
5 実施日程	17
III ステージラボ 富士見セッション	
1 コーディネーター・講師紹介	21
2 研修プログラム	23
3 各コースについて	
(1) ホール入門コース	
総評	27
ゼミ記録	28
(2) 自主事業コース	
総評	33
ゼミ記録	34
4 共通プログラム	38
IV ステージラボ いわきセッション	
1 コーディネーター・講師紹介	41
2 研修プログラム	44
3 各コースについて	
(1) ホール入門コース	
総評	48
ゼミ記録	49
(2) 自主事業（音楽）コース	
総評	53
ゼミ記録	54
(3) 公立ホール・劇場マネージャーコース	
総評	60
ゼミ記録	61
4 共通プログラム	64
V 参加者リスト	
1 ステージラボ 富士見セッション	67
2 ステージラボ いわきセッション	73

I 事業概要

I 事業概要

1 事業概要

(1) 事業目的

地域における文化・芸術の創造拠点となる公共ホール・劇場等や地方公共団体の文化・芸術に携わる職員を対象に、職務内容、階層に応じた実践的研修プログラムの実施を通して、地域社会と文化・芸術をどうつなぐかというアートマネジメント論に立った施設運営の探求と、施設間の連携による効果的な芸術支援（育成）の環境を整える。

(2) 事業内容

① 対象者

公共ホール・劇場等及び地方公共団体の文化・芸術に携わる職員

② 開催回数、実施時期及び期間

原則年度2回。年度の前半及び後半に各1回ずつ

3～4日間程度の集中研修

③ 会場

全国各地の公共ホールや劇場等

(3) 事業の特徴

① 集中ゼミの実施

3～4日間の日程で、密度の濃いカリキュラムで実施。

② 研修参加者の経験度にあわせたコース設定・プログラム構成

研修効果を高めるため、担当業務の内容、経験年数ならびに職務階層別のカリキュラム体系を編成（1セッション2～3コース程度）。また、参加応募時にアンケートを提出いただき、事前に参加者の問題意識や参加ニーズを把握することで、参加者の抱える課題に応じたゼミ内容となるよう努めている。

③ 参加者の能動的参加を促し、双方向のコミュニケーションを導き出す

一方的な講義とならないよう、少人数のゼミ形式を採用。事前課題、グループディスカッション等を用い、参加者自らの積極的な参加意識を高める。

④ 実体験に触れるプログラムの提供

ワークショップ、レクチャーコンサート等を通して、実演芸術のあり方を肌で感じる機会を設けている。

⑤ 参加者同士のネットワークづくり

先進的な取り組みを行う公立文化施設を会場として開催し、研修を通じて全国各地から集まった参加者同士の交流を深める。

1 事業概要

2 開催実績

年度	セッション名	開催日時	会場	参加者数	設定コース	
平成6年度	埼玉セッション	平成 6年 11月 30日 ～ 12月 2日	彩の国さいたま 芸術劇場 (埼玉県与野市：現さいたま市)	65名	基礎コース 音楽コース 演劇ダンスコース	23名 23名 19名
	宮崎セッション	平成 7年 2月 28日 ～ 3月 3日	宮崎県立芸術劇場 (宮崎県宮崎市)	56名	基礎コース 音楽コース 演劇コース	18名 19名 19名
平成7年度	水戸セッション	平成 7年 6月 6日 ～ 6月 10日	水戸芸術館 (茨城県水戸市)	52名	ステージ業務入門コース ステージ創造環境コース ステージ鑑賞共感コース	21名 12名 19名
	広島セッション	平成 8年 2月 27日 ～ 3月 1日	アステールプラザ (広島県広島市)	76名	基礎コース 音楽コース 演劇コース	23名 33名 20名
平成8年度	盛岡セッション	平成 8年 7月 2日 ～ 7月 5日	盛岡劇場 (岩手県盛岡市)	59名	ホール事業入門コース 音楽事業コース 演劇事業コース	21名 18名 20名
	福岡セッション	平成 8年 11月 19日 ～ 11月 22日	アクロス福岡 (福岡県福岡市)	60名	基礎準備コース ホール運営Ⅰコース ホール運営Ⅱコース	17名 22名 21名
平成9年度	松山セッション	平成 9年 8月 5日 ～ 8月 8日	松山市総合 コミュニティセンター (愛媛県松山市)	69名	ホールマネージャーコース ホール運営入門コース 自主事業(音楽)コース 自主事業(演劇・ダンス)コース	19名 20名 15名 15名
	世田谷セッション	平成10年 2月 17日 ～ 2月 20日	世田谷 パブリックシアター (東京都世田谷区)	78名	ホール計画コース ホール入門コース 演劇コース 音楽コース	17名 26名 16名 19名
平成10年度	札幌セッション	平成10年 6月 23日 ～ 6月 26日	札幌芸術の森 (北海道札幌市)	69名	ホールマネージャーコース ホール入門コース 演劇コース 音楽コース	14名 20名 15名 20名
	神戸セッション	平成11年 2月 2日 ～ 2月 5日	神戸アートビレッジ センター (兵庫県神戸市)	69名	ホール計画コース ホール入門コース 演劇・ダンスコース 音楽コース	15名 24名 11名 19名
平成11年度	静岡セッション	平成11年 6月 29日 ～ 7月 2日	静岡県コンベンション アーツセンター (静岡県静岡市)	66名	ホール入門コース ホール運営Ⅰコース ホール運営Ⅱコース	25名 20名 21名
	高知セッション	平成12年 2月 15日 ～ 2月 18日	高知県立美術館 (高知県高知市)	70名	ホールマネージャーコース ホール入門コース 自主事業コース 美術コース	14名 20名 21名 15名
平成12年度	金沢セッション	平成12年 7月 4日 ～ 7月 7日	金沢市民芸術村 (石川県金沢市)	81名	ホール入門コース 演劇コース 音楽コース 美術コース	26名 19名 20名 16名
	熊本セッション	平成13年 2月 20日 ～ 2月 23日	熊本県立劇場 (熊本県熊本市)	66名	ホール入門コース 運営基礎コース 演劇コース 音楽コース	19名 20名 12名 15名

年度	セッション名	開催日時	会場	参加者数	設定コース
平成13年度	仙台セッション	平成13年 7月 3日 ～ 7月 6日	仙台市青年文化センター (宮城県仙台市)	65名	ホール入門コース 23名 演劇コース 13名 音楽コース 18名 美術コース 11名
	佐世保セッション	平成14年 2月 5日 ～ 2月 8日	アルカスSASEBO (長崎県佐世保市)	60名	ホールマネージャーコース 17名 ホール入門コース 22名 演劇コース 9名 音楽コース 12名
平成14年度	岐阜セッション	平成14年 6月 25日 ～ 6月 28日	岐阜市文化センター (岐阜県岐阜市)	87名	ホール入門コース 24名 自主事業入門コース 21名 自主事業企画・制作コース 21名 ホール管理・運営コース 21名
	大分セッション	平成15年 2月 18日 ～ 2月 21日	大分県立総合文化センター (大分県大分市)	71名	ホール入門コース 23名 自主事業入門コース 20名 自主事業企画・制作コース 16名 アートミュージアムラボ 12名
平成15年度	横浜セッション	平成15年 7月 1日 ～ 7月 4日	横浜赤レンガ倉庫1号館 (神奈川県横浜市)	88名	ホール入門コース 25名 自主事業入門コース 23名 自主事業企画・制作コース 21名 アートミュージアムラボ 19名
	沖縄・佐敷セッション	平成16年 2月 3日 ～ 2月 6日	佐敷町文化センター・シュガーホール (沖縄県佐敷町)	50名	ホール入門コース 21名 自主事業コース 17名 文化政策・企画コース 12名
平成16年度	新潟セッション	平成16年 6月 22日 ～ 6月 25日	りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 (新潟県新潟市)	81名	ホール入門コース 24名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 20名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 18名 文化政策企画・文化施設運営コース 19名
	京都セッション	平成17年 2月 1日 ～ 2月 4日	京都芸術センター (京都府京都市)	69名	ホール入門コース 23名 自主事業Ⅰ(演劇)コース 13名 自主事業Ⅱ(ダンス)コース 17名 アートミュージアムラボ 16名
平成17年度	松本セッション	平成17年 7月 5日 ～ 7月 8日	まつもと市民芸術館 (長野県松本市)	77名	ホール入門コース 25名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 14名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 18名 文化政策企画・文化施設運営コース 20名
	三重セッション	平成18年 2月 21日 ～ 2月 24日	三重県総合文化センター (三重県津市)	51名	ホール入門コース 15名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 19名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 12名 アートミュージアムラボ 5名
平成18年度	長久手セッション	平成18年 7月 11日 ～ 7月 14日	長久手町文化の家 (愛知県長久手町)	65名	ホール入門コース 20名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 16名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 10名 文化政策企画・文化施設運営コース 19名
	高松セッション	平成19年 2月 20日 ～ 2月 23日	サンポートホール高松 (香川県高松市)	64名	ホール入門コース 19名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 16名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 15名 アートミュージアムラボ 14名
平成19年度	鳥取セッション	平成19年 7月 10日 ～ 7月 13日	鳥取県立県民文化会館 (鳥取県鳥取市)	62名	ホール入門コース 21名 自主事業コース 22名 文化政策企画・文化施設運営コース 19名
	東京セッション	平成20年 2月 5日 ～ 2月 8日	東京芸術劇場 (東京都豊島区)	65名	ホール入門コース 24名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 20名 自主事業Ⅱ(ダンス)コース 10名 アートミュージアムラボ 11名

年度	セッション名	開催日時	会場	参加者数	設定コース
平成20年度	青森セッション	平成20年 7月15日 ～ 7月18日	青森市文化会館、 青森県立美術館 (青森県青森市)	57名	ホール入門コース 20名 自主事業コース 16名 文化政策企画・文化施設運営コース 11名 アートミュージアムラボ 10名
	徳島セッション	平成21年 2月 3日 ～ 2月 6日	徳島県郷土文化会館 (徳島県徳島市)	49名	ホール入門コース 21名 自主事業コース 16名 文化政策企画・文化施設運営コース 12名
平成21年度	富山・高岡セッション	平成21年 7月 7日 ～ 7月10日	富山県高岡文化ホール (富山県富山市)	57名	ホール入門コース 23名 自主事業コース 21名 アートミュージアムラボ 13名
	(東京・赤坂開催)	平成21年9月3日～5日	地域創造会議室	16名	公立ホール・劇場マネージャーコース 16名
	鹿児島セッション	平成22年 2月 2日 ～ 2月 5日	鹿児島県文化センター (鹿児島県鹿児島市)	55名	ホール入門コース 23名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 18名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 14名
平成22年度	群馬セッション	平成22年 7月15日 ～ 7月18日	群馬県民会館 (群馬県前橋市)	56名	ホール入門コース 21名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 20名 自主事業Ⅱ(ダンス)コース 15名
	(東京・赤坂開催)	平成22年10月13日～15日	地域創造会議室	16名	公立ホール・劇場マネージャーコース 16名
	奈良セッション	平成23年 2月 1日 ～ 2月 4日	なら100年会館 (奈良県奈良市)	63名	ホール入門コース 24名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 19名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 20名
	アートミュージアムラボ 高知セッション	平成23年 3月 9日～11日	高知県立美術館(高知県高知市)	17名	アートミュージアムラボ 17名
平成23年度	(東京・赤坂開催)	平成23年10月12日～14日	地域創造会議室	18名	公立ホール・劇場マネージャーコース 18名
	アートミュージアムラボ 埼玉セッション	平成23年12月7日～9日	埼玉県立近代美術館(埼玉県さいたま市)	16名	アートミュージアムラボ 16名
	栃木セッション	平成24年 2月 21日 ～ 2月 24日	栃木県総合文化センター (栃木県宇都宮市)	53名	ホール入門コース 21名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 20名 自主事業Ⅱ(ダンス)コース 12名
平成24年度	埼玉セッション	平成24年 7月10日 ～ 7月13日	彩の国さいたま芸術劇場 (埼玉県さいたま市)	54名	ホール入門コース 25名 自主事業Ⅰ(演劇)コース 14名 自主事業Ⅱ(ダンス)コース 15名
	(東京・赤坂開催)	平成24年10月31日～11月2日	地域創造会議室	15名	公立ホール・劇場マネージャーコース 15名
	兵庫セッション	平成25年 1月 29日 ～ 2月 1日	兵庫県立芸術文化センター (兵庫県西宮市)	62名	ホール入門コース 23名 自主事業Ⅰ(地域交流プログラム)コース 19名 自主事業Ⅱ(音楽企画政策)コース 20名
	アートミュージアムラボ 静岡セッション	平成25年 3月 6日～8日	静岡県立美術館(静岡県静岡市)	11名	アートミュージアムラボ 11名
平成25年度	静岡セッション	平成24年 6月 25日 ～ 6月 28日	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ (静岡県静岡市)	60名	ホール入門コース 22名 自主事業Ⅰ(伝統芸能)コース 18名 自主事業Ⅱ(子ども)コース 20名
	(東京・赤坂開催)	平成25年9月4日～6日	地域創造会議室	25名	公立ホール・劇場マネージャーコース 25名
	アートミュージアムラボ 宮城セッション	平成25年 12月 4日～6日	宮城県美術館(宮城県仙台市)	8名	アートミュージアムラボ 8名
	長崎セッション	平成25年 2月 18日 ～ 2月 21日	長崎ブリックホール (長崎県長崎市)	48名	ホール入門コース 18名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 13名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 17名
平成26年度	新潟セッション	平成26年 7月 1日 ～ 7月 4日	りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 (新潟県新潟市)	58名	ホール入門コース 21名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 22名 自主事業Ⅱ(舞台芸術)コース 15名
	(東京・赤坂開催)	平成26年10月15日～17日	地域創造会議室	16名	公立ホール・劇場マネージャーコース 16名
	アートミュージアムラボ 愛知セッション	平成27年 1月28日～30日	愛知芸術文化センター(愛知県名古屋市中区)	12名	アートミュージアムラボ 12名
	広島セッション	平成27年 2月 17日 ～ 2月 20日	アステールプラザ (広島県広島市)	47名	ホール入門コース 20名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 14名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 13名

年度	セッション名	開催日時	会場	参加者数	設定コース
平成 27 年度	札幌セッション	平成27年 7月 7日 ～ 7月 10日	札幌市教育文化会館 (北海道札幌市)	43名	ホール入門コース 17名 事業入門コース 10名 音楽コース 16名
	(東京・赤坂開催)	平成27年10月6日～8日	地域創造会議室	17名	公立ホール・劇場マネージャーコース 17名
	北九州セッション	平成28年 2月 16日 ～ 2月 19日	北九州芸術劇場 (福岡県北九州市)	48名	ホール入門コース 20名 音楽コース 15名 演劇コース 13名
平成 28 年度	上田セッション	平成28年 7月 5日 ～ 7月 8日	サントミュージゼ 上田市交流文化芸術センター (長野県上田市)	56名	ホール入門コース 21名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 17名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 18名
	(東京・赤坂開催)	平成28年10月12日～14日	地域創造会議室	15名	公立ホール・劇場マネージャーコース 15名
	豊田セッション	平成29年 2月 21日 ～ 2月 24日	豊田市民文化会館 (愛知県豊田市)	59名	ホール入門コース 20名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 22名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 17名
平成 29 年度	高知セッション	平成29年 7月 4日 ～ 7月 7日	高知県立美術館 (高知県高知市)	41名	ホール入門コース 17名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 10名 自主事業Ⅱ(舞台芸術)コース 14名
	(東京・赤坂開催)	平成29年10月16日～18日	地域創造会議室	19名	公立ホール・劇場マネージャーコース 19名
	横浜セッション	平成30年 2月 20日 ～ 2月 23日	横浜みなとみらいホール (神奈川県横浜市)	42名	ホール入門コース 22名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 20名
平成 30 年度	滋賀セッション	平成30年 7月 3日 ～ 7月 6日	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール (滋賀県大津市)	56名	ホール入門コース 21名 事業入門コース 21名 自主事業(音楽)コース 14名
	(東京・赤坂開催)	平成30年10月16日～18日	地域創造会議室	14名	公立ホール・劇場マネージャーコース 14名
令和 元 年 度	富士見セッション	令和 元年 6月 25日 ～ 6月 28日	富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ (埼玉県富士見市)	41名	ホール入門コース 22名 自主事業コース 19名
	いわきセッション	令和 2年 2月 18日 ～ 2月 21日	いわき芸術文化交流館アリオス (福島県いわき市)	44名	ホール入門コース 20名 自主事業(音楽)コース 16名 公立ホール・劇場マネージャーコース 8名

3,275名(令和元年度終了時点での修了者)

1 事業概要

3 都道府県別参加者数

単位：名

	令和元年度までの参加者数		
		うち 平成27～令和元年度	
			うち 令和元年度
北海道	119	30	7
青森県	16	3	1
岩手県	50	14	6
宮城県	42	5	1
秋田県	10	1	0
山形県	21	2	2
福島県	46	14	2
茨城県	71	20	4
栃木県	24	8	4
群馬県	36	6	1
埼玉県	116	15	5
千葉県	46	6	0
東京都	201	28	6
神奈川県	172	22	2
新潟県	79	8	1
富山県	87	5	1
石川県	38	1	0
福井県	37	4	1
山梨県	8	0	0
長野県	79	12	1
岐阜県	128	7	1
静岡県	136	12	2
愛知県	223	61	10
三重県	60	11	2
滋賀県	77	6	0
京都府	43	3	0
大阪府	109	22	3
兵庫県	151	33	4
奈良県	20	1	0
和歌山県	8	0	0
鳥取県	63	13	0
島根県	41	6	2
岡山県	42	10	0
広島県	116	18	1
山口県	54	2	0
徳島県	29	5	1
香川県	25	1	0
愛媛県	17	0	0
高知県	41	4	0
福岡県	244	46	9
佐賀県	18	1	0
長崎県	91	7	2
熊本県	61	10	1
大分県	61	3	1
宮崎県	39	6	1
鹿児島県	34	0	0
沖縄県	46	3	0
合計	3275	495	85

Ⅱ 令和元年度事業

II 令和元年度事業

1 事業概要

(1) ステージラボ 富士見セッション

開催期日	令和元年 6 月 25 日（火）～6 月 28 日（金）
開催会場	富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ （埼玉県富士見市大字鶴馬 1803-1）
開催体制	主催：一般財団法人地域創造 共催：富士見市、公益財団法人キラリ財団 後援：埼玉県
対象者※	「ホール入門コース」 公共ホール・劇場（開館準備のための組織を含む。）において、業務経験年数 1 年半未満程度（開館準備のための組織にあつては年数不問）の職員。 「自主事業コース」 自主事業を実施している公共ホール・劇場で、舞台芸術の自主事業に積極的に取り組みたいと考えている、業務経験年数が 2～3 年程度の職員。

(2) ステージラボ いわきセッション

開催期日	令和 2 年 2 月 18 日（火）～2 月 21 日（金）
開催会場	いわき芸術文化交流館アリオス （福島県いわき市平字三崎 1-6）
開催体制	主催：一般財団法人地域創造 共催：いわき市、いわき芸術文化交流館アリオス 後援：福島県
対象者※	「ホール入門コース」 公共ホール・劇場（開館準備のための組織を含む。）において、業務経験年数 1 年半未満程度（開館準備のための組織にあつては年数不問）の職員。 「自主事業（音楽）コース」 自主事業を実施している公共ホール・劇場で、音楽の自主事業に積極的に取り組みたいと考えている、業務経験年数が 2～3 年程度の職員。 「公立ホール・劇場マネージャーコース」 公共ホール・劇場において管理職程度の職責を持つ方。

※指定管理者である民間事業者の職員を含む。

II 令和元年度事業

2 参加者の属性

(1) 富士見セッション

コース名	ホール入門	自主事業	合計
参加者数	22	19	41

参考：参加申込者数43名

①都道府県別

	入門	自主事業	合計
北海道	1	2	3
青森			
岩手	1	1	2
宮城			
秋田			
山形		1	1
福島	1		1
茨城			
栃木		1	1
群馬			
埼玉	1	3	4
千葉			
東京	1	2	3
神奈川	1	1	2
新潟			
富山			
石川			
福井			
山梨			
長野	1		1
岐阜			
静岡	1		1
愛知	3	3	6
三重	1	1	2
滋賀			
京都			
大阪	2	1	3
兵庫			
奈良			
和歌山			
鳥取			
島根	2		2
岡山			
広島		1	1
山口			
徳島		1	1
香川			
愛媛			
高知			
福岡	4	1	5
佐賀			
長崎	1		1
熊本			
大分	1		1
宮崎			
鹿児島			
沖縄			
合計	22	19	41

②採用形態別

	入門	自主事業	合計
地方公共団体職員（財団への派遣・出向を含む）	7	4	11
施設管理団体（財団・NPO法人等）採用職員	15	12	27
施設管理団体（民間事業者）採用職員		2	2
その他		1	1
合計	22	19	41

③性別

	入門	自主事業	合計
男	10	5	15
女	12	14	26
合計	22	19	41

④年代別

	入門	自主事業	合計
20代	16	8	24
30代	6	8	14
40代		1	1
50代		2	2
合計	22	19	41

(2) いわきセッション

コース名	ホール入門	自主事業（音楽）	公立ホール・劇場 マネージャー	合計
参加者数	20	16	8	44

参考：参加申込者数49名

①都道府県別

	入門	自主事業	マネージャー	合計
北海道	1	2	1	4
青森	1			1
岩手	2	1	1	4
宮城		1		1
秋田				
山形	1			1
福島	1			1
茨城	1	2	1	4
栃木	2		1	3
群馬	1			1
埼玉	1			1
千葉				
東京		2	1	3
神奈川				
新潟		1		1
富山	1			1
石川				
福井	1			1
山梨				
長野				
岐阜	1			1
静岡	1			1
愛知	1	2	1	4
三重				
滋賀				
京都				
大阪				
兵庫	1	1	2	4
奈良				
和歌山				
鳥取				
島根				
岡山				
広島				
山口				
徳島				
香川				
愛媛				
高知				
福岡	3	1		4
佐賀				
長崎		1		1
熊本		1		1
大分				
宮崎		1		1
鹿児島				
沖縄				
合計	20	16	8	44

②採用形態別

	入門	自主事業	マネージャー	合計
地方公共団体職員（財団への派遣・出向を含む）	5	3	1	9
施設管理団体（財団・NPO法人等）採用職員	13	13	7	33
施設管理団体（民間事業者）採用職員	1			1
その他	1			1
合計	20	16	8	44

③性別

	入門	自主事業	マネージャー	合計
男	7	5	6	18
女	13	11	2	26
合計	20	16	8	44

④年代別

	入門	自主事業	マネージャー	合計
20代	17	8		25
30代	2	7	1	10
40代	1	1	5	7
50代			2	2
合計	20	16	8	44

II 令和元年度事業

3 コーディネーター・講師一覧

(1) ステージラボ 富士見セッション

【コーディネーター】

○ホール入門コース

ヤッシー（トロンボーン奏者／BBBB [ブラックボトムブラスバンド] リーダー）

○自主事業コース

多田 淳之介（演出家／東京デスロック主宰／前富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督）

【講師】

○ホール入門コース

田澤 拓朗（上田市交流文化芸術センター）

BBBB [ブラックボトムブラスバンド]

YUTA919（トランペット奏者）

YASSY（トロンボーン奏者）

MONKY（アルト & バリトンサクソ奏者）

IGGY（テナーサクソ奏者）

TAMOTSU（スーザフォン奏者）

SEIYA（スネアドラム奏者）

ANTON（ベースドラム奏者）

白石 光隆（ピアニスト）

○自主事業コース

田上 豊（劇作家／演出家／富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督）

白神 ももこ（コレオグラファー／ダンサー／富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督）

泊 篤志（劇作家／演出家／飛ぶ劇場代表）

松井 憲太郎（富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ館長）

○共通プログラム

平田 オリザ（劇作家／演出家／青年団主宰／公益財団法人キラリ財団マネージャー）

(2) ステージラボ いわきセッション

【コーディネーター】

○ホール入門コース

龍 亜希（北九州芸術劇場プロデューサー）

○自主事業（音楽）コース

田村 緑（ピアニスト）

○公立ホール・劇場マネージャーコース

篠田 信子（富良野メセナ協会代表）

【講師】

○ホール入門コース

田上 豊（劇作家／演出家／富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督）

津村 卓（一般財団法人地域創造プロデューサー）

セレノグラフィカ

隅地 茉歩（ダンサー／コレオグラファー）

阿比留 修一（ダンサー／コレオグラファー）

吉松 寛子（北九州芸術劇場）

○自主事業（音楽）コース

草野 達也（いわき市三和支所）

長谷川 梢（NPO 法人 MOCCS 理事長）

永山 肇一（三和町区長会会長）

常光 今日子（ヴァイオリニスト）

中尾 友彰（新潟市芸術文化会館りゅーとびあ）

大月 ヒロ子（ミュージアムエデュケーションプランナー／有限会社アイデア代表取締役）

セレノグラフィカ

隅地 茉歩（ダンサー／コレオグラファー）

阿比留 修一（ダンサー／コレオグラファー）

○公立ホール・劇場マネージャーコース

吉本 光宏（ニッセイ基礎研究所 研究理事）

母袋 創一（前上田市長）

園山 土筆（しいの実シアター 芸術監督）

津村 卓（一般財団法人地域創造プロデューサー）

○共通プログラム

んまつーポス（クリエイティブ・ダンス・ユニット）

児玉 孝文（ダンサー／振付家）

みのわ そうへい（ダンサー／振付家）

豊福 彬文（ダンサー／振付家）

高橋 るみ子（宮崎大学産学・地域連携センター客員教授 舞踊教育）

II 令和元年度事業

4 スタッフ一覧

(1) ステージラボ 富士見セッション

○一般財団法人地域創造

羽生 雄一郎（事務局長）

中西 享（企画課長）

津村 卓（プロデューサー）

児玉 真（プロデューサー）

〔ホール入門コース〕 渡辺 祐人

〔自主事業コース〕 山本 磨莉

〔事務局〕 栗林 礼也、勝田 全、三田 真由美、藤原 加奈、青井 拓也、児島 美穂

○富士見市

中嶋 康裕（富士見市役所自治振興部地域文化振興課 課長）

○富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ

松井 憲太郎（館長）

紅林 泉好（副館長）

〔ホール入門コース〕 磯野 美穂

〔自主事業コース〕 柳田 典昭

○いわき芸術文化交流館アリオス（次回開催会場）

矢吹 修一（企画制作課 課長）

(2) ステージラボ いわきセッション

○一般財団法人地域創造

羽生 雄一郎（事務局長）

中西 享（企画課長）

津村 卓（プロデューサー）

児玉 真（プロデューサー）

〔ホール入門コース〕 川口 千明

〔自主事業（音楽）コース〕 永田 美幸、仕田 佳経

〔公立ホール・劇場マネージャーコース〕 児島 美穂

〔事務局〕 栗林 礼也、藤原 加奈、勝田 全、三田 真由美、青井 拓也

○いわき芸術文化交流館アリオス

津田 一浩（館長）

下山田 誠（副館長）

矢吹 修一（企画制作課 課長）

本多 浩之（施設管理課 課長）

〔ホール入門コース〕 高木 未緒、萩原 宏紀

〔自主事業（音楽）コース〕 谷 健司、飯田 能理子

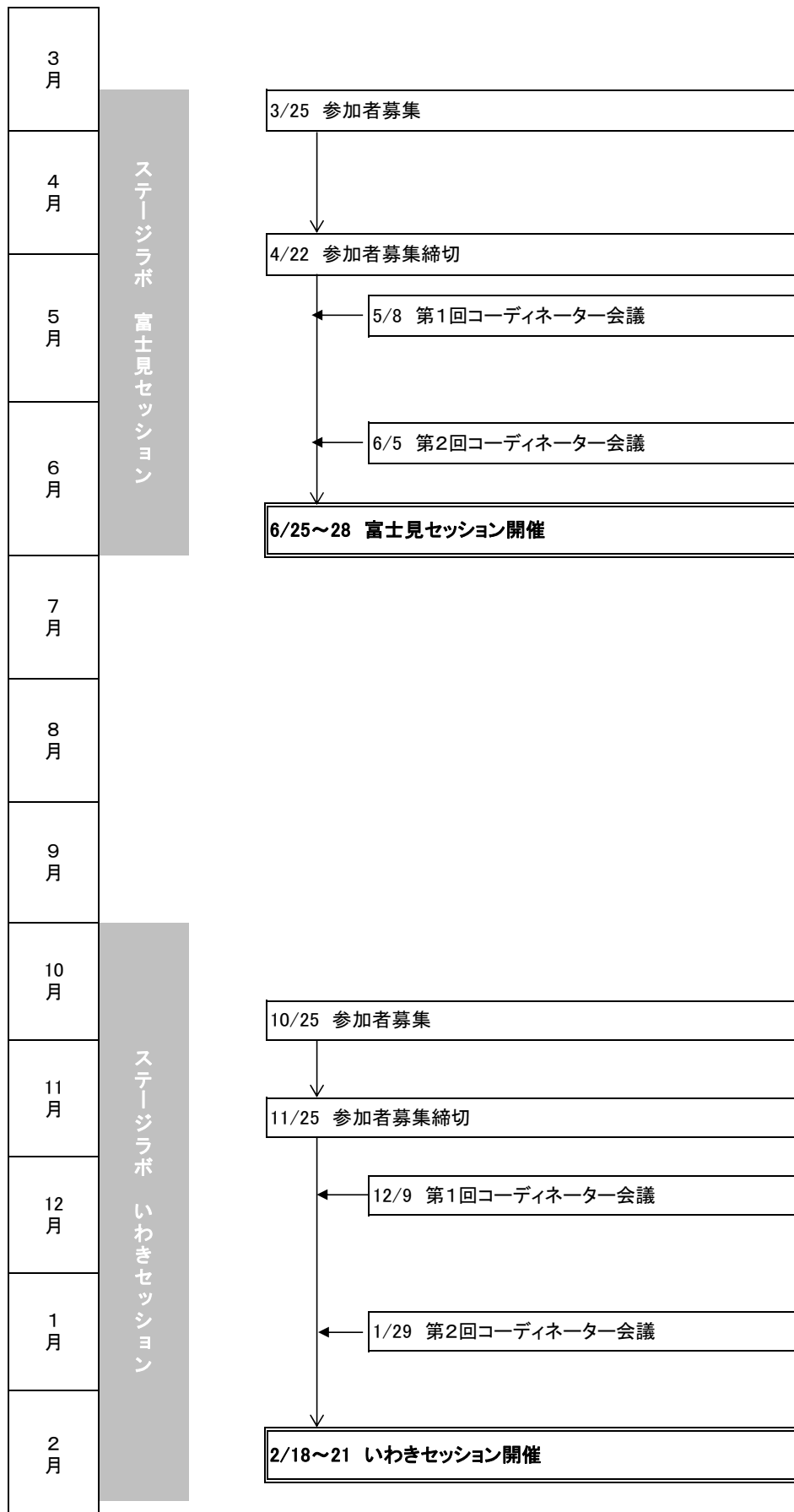
〔公立ホール・劇場マネージャーコース〕 作山 博俊、疋田 幸子

○iichiko 総合文化センター（次回開催会場）

八坂 千景（企画普及課 副課長）

II 令和元年度事業

5 実施日程（参加者募集～研修実施の流れ）



Ⅲ ステージラボ

富士見セッション

III ステージラボ 富士見セッション

1 コーディネーター・講師紹介

(1) ホール入門コース

●コーディネーター

ヤッシー (トロンボーン奏者/BBBB [ブラックボトムブラスバンド] リーダー)

[メッセージ]

ジャズの言葉で『スウィング』というのがあります。ジャズの一時代を指したり、リズムの名称なんかにもなっていますが。僕は、例えば「音楽をスウィングさせる事は、音楽を躍動させる事」という風に、スウィング=躍動と捉えています。

何かを躍動させるには、面白がり、好きになり、楽しむ事が大事。

自分の心をスウィングさせ、ホールや地域までもそうできたら、、、、これはまだ先の話ですが、そうなれば最高ですね！

今回の入門コースでは、ワークショップや、実験的なプログラムを体験しながら、又みんなで大いに考え、大いに語り合っていく中で、スウィングで一番大事な『面白い』を探しに行きたいと思います。さあ何が見つかるのでしょうか。

[プロフィール]

1969年生。大阪音楽大学卒業。トロンボーンを土橋康宏、呉信一、スコット・ハートマンの各氏に師事。日本唯一のニューオリンズスタイルブラスバンド BLACK BOTTOM BRASS BAND(ブラック・ボトム・ブラス・バンド)のメンバーとして、1996年にメジャーデビュー。ライブツアーや、FUJI ROCK Fes、台中 Jazz Fes などの国内外野外フェスに多数出演。音楽の楽しさをストレートに伝えるブラスワークショップ・音楽教室を各地で実施し好評を得ている。地域創造が都道府県と共催し、アウトリーチの手法およびアウトリーチによる事業展開の普及を図るアウトリーチフォーラムでコーディネーターを務めるほか、おんかつ支援登録アーティストとして全国の公共ホールと共に音楽の普及に力を注いでいる。

●講師

田澤 拓朗 (上田市交流文化芸術センター)

BBBB [ブラックボトムブラスバンド]

YUTA919 (トランペット奏者)

YASSY (トロンボーン奏者)

MONKY (アルト&バリトンサクソ奏者)

IGGY (テナーサクソ奏者)

TAMOTSU (スーザフォン奏者)

SEIYA (スネアドラム奏者)

ANTON (ベースドラム奏者)

白石 光隆 (ピアニスト)

(2) 事業入門コース

●コーディネーター

多田 淳之介 (演出家/東京デスロック主宰/前富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督)

[メッセージ]

公共劇場の役割、芸術の役割は、世界を変えることにあります。それは、誰か一人の世界のことでもあり、私たちが生きるこの世界のことでもあります。そして、世界が変わることを信じさせる力も芸術にはあります。ときに権力者によって縛られたり、それでも有史以来人類とともにあり続けた所以でしょう。どの世界をどう変えるか、全国で共有できることもあれば、各地域の状況、ホール担当者、アーティストによっても変わってくるでしょう。ですから、全国の事例から共有できる部分を見つけ、地域の状況を踏まえ、ホール担当者が信じていることを、アーティストの世界観によって、地域のロードマップをイメージしながら事業を展開しなくてはなりません。言葉で言うのは簡単ですが、そうもいかないことが多すぎて苦労しているホールも多いでしょう。ただ、それでもやらないといけない。そのためには、地域をもっとよく見る、芸術をもっとよく見る、自分をもっとよく見ることが助けになります。今回のコースでは、参加者同士状況をシェアしながら、それぞれが地域のロードマップを描き、どういった事業展開が必要で、そのために具体的にどんな事業を立ち上げるか、という根本に立ち返り、これまでホールが行なってきた事業の刷新や、後押しや、プラスアルファを作りたいと思っています。このチームで、日本を、地域を変えるんだという熱い意気込みお待ちしております。まずは意気込み、大事です。

[プロフィール]

演出家。東京デスロック主宰。現代を生きる人々の当事者性をテーマに古典から現代戯曲、ダンス、パフォーマンス作品まで幅広く手がけ、演劇を専門としない人やこどもとの創作、ワークショップ、韓国、東南アジアとのコラボレーションなど、演劇の協働力を軸にボーダーレスに活動する。2010年より富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督に公立劇場演劇部門の芸術監督としては国内歴代最年少で就任し3期9年間務める。2014年「가모메カルメギ」が韓国の第50回東亜演劇賞演出賞を外国人として初受賞。東京芸術祭プランニングチーム。APAF アジア舞台芸術人材育成部門ディレクター。四国学院大学、女子美術大学非常勤講師。

●講師

田上 豊 (劇作家/演出家/富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督)

白神 ももこ (コレオグラファー/ダンサー/富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督)

泊 篤志 (劇作家/演出家/飛ぶ劇場代表)

松井 憲太郎 (富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ館長)

Ⅲ ステージラボ 富士見セッション

2 研修プログラム

■ 6月25日(火) 第1日

	ホール入門コース	自主事業コース
	コーディネーター ヤッシー トロンボーン奏者 /BBBB[ブラックボトムブラスバンド]リーダー	コーディネーター 多田 淳之介 演出家/東京デスロック主宰 /前富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督
主会場	スタジオA	展示・会議室
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
14:00		
	13:30 受付	
14:00	14:00	
	開講式・オリエンテーション	
15:00	会場：マルチホール	
	15:00～17:30	15:00～17:30
16:00	ゼミ1「さあ、はじめましょう！ Let's Swing！」 講師：ヤッシー 会場：スタジオA	ゼミ1「自己紹介、意識共有」 講師：多田 淳之介 会場：展示・会議室
17:00	休憩・移動	休憩・移動
18:00		
	18:00～19:30	
19:00	全体交流会	
	会場：マルチホール	
20:00		
21:00		

■ 6月26日(水) 第2日

	ホール入門コース	自主事業コース
	コーディネーター ヤッシー トロンボーン奏者 / B B B B [ブラックボトムブラスバンド] リーダー	コーディネーター 多田 淳之介 演出家 / 東京デスロック主宰 / 前富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督
主会場	スタジオ A	展示・会議室
10:00		
11:00	10:00～11:30 ゼミ2 「ホールの仕事について / 入門編」 講師：田澤 拓朗 会場：スタジオ A	10:00～12:00 ゼミ2 「演劇にできること」 講師：田上 豊 会場：展示会議室
12:00	11:30～12:30 ゼミ3 「音楽体験ワークショップ」 講師：ヤッシー・田澤 拓朗 会場：スタジオ A	
13:00	昼食・休憩	昼食・休憩
14:00		13:00～15:00 ゼミ3 「コンテンポラリーダンスにできること」 講師：白神 ももこ 会場：展示・会議室
15:00	14:00～17:00 ゼミ4 「地域の中のホール ～まちがスウィングし始める～」 講師：田澤 拓朗 会場：スタジオ A	休憩 (15分程度)
16:00		15:15～17:15 ゼミ3 「地域の劇場にできること」 講師：泊 篤志 会場：展示・会議室
17:00	休憩 (30分程度)	休憩 (15分程度)
18:00	17:30～19:30 共通プログラム「本気の文化による街作り」 講師：平田 オリザ 会場：マルチホール	
19:00		
20:00		
21:00		

■ 6月27日(木) 第3日

	ホール入門コース コーディネーター ヤッシー トロンボーン奏者 ／BBBB[ブラックボトムブラスバンド]リーダー	自主事業コース コーディネーター 多田 淳之介 演出家／東京デスロック主宰 ／前富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督
主会場	スタジオA	展示・会議室
10:00	10:00～11:00 ゼミ5「アウトリーチを体験しよう」 講師：BLACK BOTTOM BRASS BAND 会場：スタジオA	10:00～12:00 ゼミ5「地域のプログラムを考えるWS① ～地域を知る～」 講師：松井 憲太郎 会場：展示・会議室
11:00	11:00～19:30 *途中休憩及びゼミ7をはさむ ゼミ6「おもしろ企画・超小規模企画・夢企画」 講師：ヤッシー・田澤 拓朗 会場：スタジオA 他	(昼食・休憩)
12:00	※各グループで昼食・休憩(1時間)	
13:00		13:00～15:00 ゼミ6「地域のプログラムを考えるWS② ～地域を見る～」 講師：多田 淳之介、田上 豊、 白神 ももこ、泊 篤志 会場：富士見市内
14:00		
15:00	休憩(15分程度)	休憩(15分程度)
16:00	15:00～17:00 ゼミ6「白石光隆を体験しよう」 講師：白石 光隆 会場：マルチホール	15:15～19:30 ゼミ7「地域のプログラムを考えるWS③ ～企画を立てる～」 講師：多田 淳之介、田上 豊、 白神 ももこ、泊 篤志 会場：展示・会議室
17:00	休憩(15分程度)	
18:00		
19:00		
20:00		
21:00		

■ 6月28日(金) 第4日

	ホール入門コース	自主事業コース
	コーディネーター ヤッシー トロンボーン奏者 / B B B B [ブラックボトムプラスバンド] リーダー	コーディネーター 多田 淳之介 演出家 / 東京デスロック主宰 / 前富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督
主会場	スタジオ A	展示会議室
9:00		
10:00	9:00~11:30 ゼミ7 「企画発表&ディスカッション Let's Swing」 講師：ヤッシー・田澤 拓朗 会場：スタジオ A	9:00~11:30 ゼミ6 「地域のプログラムを考えるWS④ ~自分の地域を考える~」 講師：多田 淳之介 会場：展示・会議室
11:00		
12:00	11:30 アンケート記入・休憩・移動	11:30 アンケート記入・休憩・移動
	12:00~13:00 修了式 会場：マルチホール	
13:00	12:00~13:00	
14:00		
15:00		
16:00		
17:00		
18:00		
19:00		
20:00		

III ステージラボ 富士見セッション

3 各コースについて

(1) ホール入門コース

①総評

コーディネーター ヤッシー

ステージラボ富士見セッション"ホール入門コース"に参加の皆さん、おつかれさまでした！キラリ☆ふじみの皆さん、地域創造の皆さん、ご協力頂いた講師の皆さん、ありがとうございました。

入門コースを受講されたのは、ホール経験の浅い方々です。新しい環境で、業務に対し不安を抱えていたり、明確な希望やビジョンが持たなくてモチベーションをどう上げていいのかわからない方もいらっしまったのではないのでしょうか。

そんな皆さんが、これから力を発揮していく上で、未知の職場である"ホール"を面白いと思う事が何より大切だと思い、自分にとって何が「おもしろい」かを探すべききっかけになるようプログラムを組みました。

「おもしろい」というのは、真剣に探せば探すほどよく解らなくなったり、深みにはまり迷路へ！なんて事も多々あります。まずはそれを探す事自体に"面白み"を感じてもらえれば何よりです。

(ここで少しでもきっかけをつかんで頂き、その後は各々御精進よろしくお願い申し上げます♪)

実際には様々なプログラムを体験しながら「おもしろい」って何だろう？と試行錯誤しつつも考えていくわけですが、見つけたいものは自分の中にあるので、どうしても自分自身と向き合わないといけないし、深掘りしたいのも心の奥だったりします。想像するだけでも、これはなかなか難しい。

このラボの4日間をホップ・ステップ・ジャンプに例えるなら、ホップは「自分のおもしろいの探求」、ステップは「他人のおもしろいを知る」、ジャンプは「自分のおもしろいを発見」、こんな具合になります。

遊び心を待ちながらやっても、力が入ったり疲れてくると大事な部分が見えなくなってくるので、まずはゆっくりと進めていきジャンプへ。そして、もう一つのテーマである「スウィング(躍動)」に繋げていきたいと思います。

白石光隆さんと BLACK BOTTOM BRASS BAND には音楽を通して、上田市サントミューゼの田澤拓朗さんには身をもった経験からの講義を通して、様々な角度から「おもしろい」探しが出来るようお手伝い頂きました。ありがとうございました！特に田澤さんには、4日間フルにお付き合い頂き感謝しております。

受講生の皆さん、参加してみて如何だったでしょうか？

ゼミの最後に、これから様々な問題をクリアしていく中で、出来るだけ「～やらねばならない」という思考にならぬよう、その問題と自分の「おもしろい」がリンクするまで深掘りしていけば、直感やヒラメキが生まれ、解決のアイデアに繋がっていきます！という話をさせて頂きました。

「あのホール、めっちゃおもしろい事やってるよー」なんて噂がいつか聞こえてくるのを楽しみにしています。

"自分のおもしろい"をどんどんスウィング(躍動)させていって下さいね、最初は小さいかもしれないそのスウィングが街の楽しい未来に繋がる事を願っております。皆さんの今後の活躍を大いに期待しています。 Let's Swing !

②ゼミ記録

第1日 6月25日(火)

ゼミ1「さあ、はじめましょう！ Let's Swing！」

講師：ヤッシー

入門コースのスタートは、自己紹介からスタートです。全国各地から集まり年齢も様々、経験年数浅い受講生の緊張が少しでも取れるよう『リラックスと遊び』をテーマに愛称で呼び合えるような自己紹介を、ゲーム形式で行いました。その後は、会館隣にある“ららぽーと”に和気あいあいと散策へ。途中、お気に入りのお菓子をゲットし、なぜそれを選んだのかを一人ずつ発表するなど、何でも話せるチームづくりと、今回のお題『おもしろい』『スウィング』を理解してもらった時間となりました。



第2日 6月26日(水)

ゼミ2「ホールの仕事について 入門編」

講師：田澤 拓朗

上田市サントミュージゼで様々な事業を企画展開している田澤さんに、「ホールの歩みと役割の変化」というテーマでご講義頂きました。1950年代から現代に至るホールの歴史は、社会の変化と共に役割の変化を伴ってきました。この変化し続けている歩みの中、受講生のみなさんが今いる立ち位置を知る事が出来、「役割の明確化」「ソフトの多様化」「企画制作能力の向上」「公共ホールスタッフのプロ化」「二極化の進行」など、歴史をふまえながら"公共ホールの現状とこれから"を考える機会になりました。



ゼミ3「音楽体験ワークショップ」

講師：ヤッシー、田澤 拓朗

持参した楽器を使った、音楽合奏のワークショップです。「面白さは身体&心の奥にある」「音を合わせる＝心を合わせる事の面白さ」の2点をテーマに、カスタネット・鈴・笛・ギターなどの持ち寄った楽器でゼロからつくる音楽体験をしてもらいました。「超リラックスで身体&頭をカラッポに!」「自分のリズムは自分のもの、自分で楽しく刻むべし!」「自分の言葉を使い、音に生命を吹き込もう!」など・・・自分自身で音を面白くしていき、その音で音楽する感覚の初歩的体験。音楽の得手不得手はあると思いますが、音楽の楽しさや新たな魅力を感じる時間になったのではないのでしょうか。



ゼミ4「地域の中のホール～まちがスウィングし始める～」

講師：田澤 拓朗

この回では田澤さんに、上田市をはじめ以前勤務されていた青森市での事例を具体的に示しながら話して頂きました。また、サントミュージゼの基本理念「人にやさしい 夢と未来を紡ぐ 創造都市うえだ」の実現!そしてその根底にある「育成」について、キーワードである「創造力」「発想力」「コミュニケーション力」「多様な個性を認め合う」に沿って行われている事業について詳しくお話頂き、広報手法なども紹介して頂きました。

地域の中のホールとして「信頼関係」の構築を何より大切にしているサントミュージゼの田澤さんのお話は、受講生にとって大いに参考となり収穫の多い時間となりました。



第3日 6月27日(木)

ゼミ5「アウトリーチを体験しよう～BBBB～」

講師：BLACK BOTTOM BRASS BAND

地域創造登録アーティスト BLACK BOTTOM BRASS BAND の「スウィング&自由・音楽の楽しさ」をテーマにしたアウトリーチ。聴くだけでなく、様々な楽しさを自由と共に体感させてくれるBBBBのアウトリーチは、受講生にとって自分の"おもしろい探し"の良いきっかけになり、改めて音楽の魅力を発見したのではないのでしょうか。実際に小学校で行っているアウトリーチプログラムを行なって頂きました。

(1,マーチング・2,ストロベリーダンスアワー・3,楽器紹介・4,ワッシュイブギ・5,スウィングしよう～sing sing sing・6,ドラム体験コーナー・7,聖者の行進)



ゼミ6「おもしろ企画・超小規模企画」

講師：ヤッシー、田澤 拓朗

ここからは、7～8名で3つのグループに分かれ、企画制作に入ります。それぞれ部屋に分かれ、まずはおもしろさのみを追求した『おもしろ企画』を考えます。自分がおもしろいと思ったアイデアを出し合い、その中から本当におもしろいと思えるものを探し出す時間です。自分の価値観と他人の価値観が交じり合い、自分の中に新たな発見があったり、グループとして発見や新しいアイデアが浮かんだり。「おもしろさのみ」の、“のみ”にこだわって行う事

で、街の規模・予算・環境に縛られず、意見を出し合う事に主を置き、また経験の浅いメンバーは主体的に意見を出し合う事に面白さを見出せたのではないのでしょうか。



ゼミ7「白石光隆を体験しよう」

講師：白石 光隆

地域創造登録アーティスト白石さんのアウトリーチ。白石さんのピアノの世界に魅了されつつ、ピアノの歴史・構造をパネルやピアノ解体ショーでわかりやすく説明して頂き、その興味深い内容に釘付けとなりました。

後半には、「バスケットボールを使った体験」「日本人と西洋人とのリズムのとり方の違いを、歩き方から体験」など、全身で理解し、身体感覚が変化する中で聴く音楽は、驚きの体験となりました。

目からウロコな時間に、各々新たな発見があったのではないのでしょうか。



続ゼミ6「おもしろ企画・超小規模企画」

講師：ヤッシー、田澤 拓朗

続いて、5～10名程の集客を目指した『小規模企画』です。少人数を対象にする事により、来場者を具体的に想像したり、気楽さから自由度が増し新たな発見があったり、直感やヒラメキ、より主体的で遊び感覚な対話出来るようにした企画です。

そしてこの日の最後、今日考えたアイデアが『公共ホールとしての企画であるか』『10年後も、この街に自分が住んでいたいと思える事に繋がる企画か』、この2点をふまえて翌日に発表するよう伝えました。

楽しく発案した内容が「～やらねばならない」という思考でまとめないように、各々が「おもしろい」を深掘りしていき、グループとしてその2点をクリアする旨を伝え、この日は終了。



第4日 6月28日(金)

ゼミ8「企画発表&ディスカッション Let's Swing」

講師：ヤッシー、田澤 拓朗

前日に伝えた内容に沿って、自分たちの企画の見直しからスタートです。自分達が面白いと思ったアイデアをまとめていく中、「～やらねばならない」で何とかまとめてしまうのか、困難な部分を面白さの深掘りで乗り越えられるのか。さあどうなるか、いよいよ発表です！

結果、3グループの発表は、特色&アイデアに溢れたものとなり、とても面白く興味深い内容になりました。内容はもちろん、発表の仕方にも様々な工夫を施しており、一人ずつの表情・声を聞いていて、この4日間それぞれが「自分のおもしろい」を探す楽しさを知ったのではないのでしょうか。

自分の面白い部分に気づき、他の人と共有しスウィングさせていきましょう！ これからの受講生の活躍を大いに期待したいと思います、Let's Swing！



(2) 自主事業コース

①総評

コーディネーター 多田 淳之介

今回の富士見セッションは、キラリふじみ歴代芸術監督、現芸術監督のお二人と館長までも講師に迎えた富士見スペシャルプログラムでした。もちろん富士見市のアピールが目的ではなく、一つの地域、劇場の活動を通して各セクション、人によっても見えるもの、見てきたものが違うということ伝えるためです。今回の参加者たちが見た富士見市というのも参加者によってそれぞれ違ったのではないのでしょうか。参加者へのメッセージなどでも触れているように、今回は“地域を見る目”を鍛えるというのがテーマでした。私たちはともすると物事を一方向からしか見ることができません、そもそも人ひとりが見えるものには限界があります。だからこそ私たちは他者の視座から様々なものを学びます。今回の参加者には、視野を広げ、新たな視座を得ることで自分の見る力を鍛えてもらうと同時に、他者の視座から学ぶ力も持って帰ってもらえたら嬉しいです。長年住み慣れた地域でも、自分が知っていることというのはほんの一部です、地域には人の人生では捉えきれない長さの時間が流れています。歴史というのも視座の一つです、今回のラボがそれぞれの地域で人や歴史から様々な発見をするきっかけになってくれることを願っています。

現在の日本の社会を覆う鬱々とした雰囲気は、間違いなく分断、対立から生まれています。物事は常に多面的ですから、意見というものは常に分かれます。違った意見、違った視点から物事の本質に近づこうとすることは、人類の知恵であり社会を構成する根本です。そしてそういったことを人類に可能にしてきたのは芸術の持つ人間について考える力であるのだと思います。レクチャーでも触れましたが、日本の教育過程では、芸術は技術や評価に重きが置かれ、芸術の本来持っている自分を表現すること、自分を肯定すること、他者と出会うことを体験できる機会がほとんどありません。むしろ教育課程からはみ出した子供だけが体験できる逆転現象すら見られます。各施設、各地域によって状況、ミッションも異なると思いますが、日本で芸術に携わる仕事をして行く限り、芸術に触れられる場を作ることは全員に課された使命だと思って欲しいです。自分と他人は違うから面白い、自分だけでは見つけられなかったことも他者がいるから見つけられた、ということを経験するだけでも実感してもらえたと思います。複数の人たちで同じ体験をして違った意見を交換する、この単純な構造だけでも色々なことができますし、これは劇場の役割そのものでもあります。何か大きな結論を目指すのではなく、違いを体験すること自体に発見があり、学びや成長が潜んでいます。今間違いなく芸術の力が必要とされているのです。

日本の文化行政をめぐる様々な問題も起きています、それでなくても各地域で公として文化芸術を振興していくことの困難は尽きないかと思います。ぜひ今回出会った全国で奮闘する仲間たちのことを思い出してください。そもそも日本自体が沈んでいく船かもしれません。ただそれは経済に幸せや豊かさを求めているからであって、私たちの仕事はそうではありません。どんな社会であっても人間が人間らしく暮らしていくことを支える仕事です。ぜひ、誇りをもって仕事をして欲しいと願います。

自分自身初めてのステージラボのコーディネーターという大任で至らない部分も多々あったかと思いますが、参加者の皆さんの地域への思いやモチベーションの高さによってプログラムも無事に終了し、自分自身としても色々な発見や学びがありました。(一財)地域創造のみなさん、キラリふじみのスタッフ、現芸術監督のお二人、館長、北九州から来ていただいた泊さん、そして参加者の皆さんに感謝いたします。どうもありがとうございました、これからはがんばっていきましょう。

②ゼミ記録

第1日 6月25日(火)

ゼミ1「自己紹介、意識共有」

講師：多田 淳之介

今後の意識の共有のために、まず参加者それぞれが現在課題に感じていることを全体にシェアしてもらいました。自治体の職員なのか指定管理者なのか、勤続年数、経験、施設の規模、街の規模、立地、気候、風俗、文化、当然それぞれ共通するものもあればしないものあり、違いを感じるとともに、共有する部分もそれぞれ見つけられ、良いスタートになったのではないかと思います。その後は今回のラボの目的について説明し、スライドを使って、元芸術監督である自



分の視点からの富士見市とキラリふじみについてのレクチャーをしました。小学生の遊び場づくり「こどもステーション」や劇場アウトリーチに特化した「リージョナルカンパニーACT-F」の活動など、施設とアーティストと市民の協働について参加者へのヒントとなってくれば嬉しいです。

第2日 6月26日(水)

ゼミ2「演劇にできること」

講師：田上 豊

現芸術監督である田上氏によるワークショップ。穴あきテキストを使って各チームの作った台本をシャッフルし、劇場の様々な場所での発表を行いました。初めて演劇を使ったワークショップを体験する参加者もいましたが、方言をうまく取り入れたり、借景をうまく利用するなどバラエティに富んだ発表となりました。戯曲を作り、演出を考え、自分で演じることで、演劇の持つコミュニケーションと、協働力、他者への想像力を短時間で体験するプログラムとなり、この後のプログラムに向けて参加者同士のコミュニケーションを図ることもできました。



ゼミ3 「コンテンポラリーダンスにできること」

講師：白神 ももこ

もう一人の現芸術監督白神氏によるワークショップ。ダンス経験者がほとんどいないなか、身体の居心地のワークから丁寧に始まり、最終的には全員がパフォーマンスを発表するまでに至りました。演劇は言語、他者との関わりから始まるのに対して、ダンスは身体、感覚、自分の内部を見るところから始まり、直前の田上氏のワークショップと続いたことで演劇とダンスの違いも感じられたのではないかと思います。両氏のワークショップに共通するのは、技術を教えるのではなく、あくまで誰もが持っている能力や感覚を使い、普段の自分の生活や身体にフィードバックのあるプログラムになっているところ、そして何より参加していて楽しいということ、事業を考える上でも非常に大切な要素です。



ゼミ4 「地域の劇場にできること」

講師：泊 篤志

北九州を中心に長年にわたり活動する劇団「飛ぶ劇場」の主宰であり、北九州芸術劇場のローカルディレクターを務める泊氏によるレクチャー。劇団主宰者として、劇場のディレクターとして、北九州の演劇状況からどういった問題意識で活動や事業を組み立ててきたか、劇場の事業と民間での事業を横断的に考えて地元アーティスト育成をしてきた話など、非常に興味深く参加者にもビビットに伝わるレクチャーでした。宮崎県三股町での街と演劇のプロジェクト「まちドラ」の事例紹介も非常に興味深いものでした。



第3日 6月27日(木)

ゼミ5「地域のプログラムを考える WS①～地域を知る～」

講師：松井 憲太郎

キラリふじみ館長兼プロデューサーである松井氏による地域に根ざした劇場の事業展開、芸術監督、アソシエイトアーティストの協働についてのレクチャー。ゼミ1での前芸術監督からの視点、共通プログラムでの初代芸術監督である平田オリザ氏からの視点と合わせて、一つの施設、一つの地域を複数の視点から語ることにより、地域の特色、施設の活動も多面的に捉えてもらえたのではないかと思います。特にアーティストではなく制作者側の視点は参加者にとっても刺激になったのでは無いでしょうか。ここまでで富士見市とキラリふじみの活動についてのインプットは十分果たしメインプログラムへの準備が整いました。



ゼミ6「地域のプログラムを考える WS②～地域を見る～」

講師：多田 淳之介、田上 豊、白神 ももこ、泊 篤志

富士見市内にフィールドワークに出かけました。駅から劇場までの住宅地や劇場の向かいに聳える大型ショッピングモールとはとは全く雰囲気の違う農村地域を中心に、ベッドタウンとしての歴史、農村としての歴史を歩んできた富士見市を見て回り、各参加者の地域との違いや、個人的に気になる場所を見つけてもらいます。参加者の見つける自分の地域との違いは、自分の地域を改めて見直すことにもつながり、個人的に気になる場所は自分自身を見直すことにつながります。住宅地の歴史がなく人工的に作られたエリアまで紹介しきれなかったのは残念でしたが、縄文から現代までの人々の営みを辿ってもらいました。平日の昼間ということもあり道中ほとんど市民の姿もなく、昼間人口と夜間人口の差で全国1位になったことのある富士見市の現状をリアルに感じてもらえたのではないかと思います。



ゼミ7「地域のプログラムを考える WS③～企画を立てる～」

講師：多田 淳之介、田上 豊、白神 ももこ、泊 篤志

これまでのレクチャー、ワークショップ、フィールドワークを踏まえ、富士見市での企画をグループに分かれて考える、今回のラボのメインのプログラム。まず最初にそれぞれ個人的に感じた富士見市のストロングポイント、ウィークポイント、それぞれの企画草案を発表してもらって、問題意識の近い参加者同士でチームを作りました。チーム作りの際は例えば子供と演劇をつくるプログラムなら子供と演劇と優先順位はどちらなのかなど、企画の表面的な部分ではなく問題意識を基準にしてもらいました。チームに別れてからは、富士見市の未来に向けてのキャッチコピーから具体的なプログラムに落としこみ、10年後までの事業展開、ロードマップまでを考えてもらいました。各チーム様々なアイデアが飛び交う活発なワークになり、中間発表のみで最終発表は翌日に持ち越しになりました。



第4日 6月28日(金)

ゼミ8「地域のプログラムを考える WS④～自分の地域を考える～」

講師：多田 淳之介

前日からの各グループの企画作りの発表準備、最終発表を行い、非常にユニークな企画が多数生まれました。ふるさとのおばあちゃんの持つ癒し効果に着目し、プロおばあちゃんの育成、シルバーアートによる高齢化対策と観光客や移住促進を兼ねるプロジェクトや、月に一度お月見に合わせたアートプロジェクト、待ち全体を使ったオリジナル妖怪きもだめしプロジェクト、予算的に実現可能性の低いものもありましたが、そのプロセスや、企画の目指すコンセプトなどはかなり「使える」アイデアがあったのではないかと思います。ぜひこの豊かな発想の持つ可能性を自分の地域にも持ち帰ってほしいと思います。各参加者のフィードバックでは、他の施設の人との出会いやコミュニケーションから得るものが多かったという感想が目立ち、こういった交流、交換の場の必要性も改めて感じました。



III ステージラボ 富士見セッション

4 共通プログラム

講演会「本気の文化による街作り」

(1) 日時・会場

令和元年 6 月 26 日 (水) 17:30 ~ 19:30 キラリ☆ふじみ マルチホール

(2) 講師等

平田 オリザ (公益財団法人キラリ財団マネージャー)

(3) 概要及び目的

劇作家・演出家・こまばアゴラ劇場芸術監督・劇団「青年団」主宰として、また、豊岡市にできる国際観光芸術専門職大学(仮称)の立ち上げにも関わっている平田オリザ氏を迎えた講演会を実施。

かけ声倒れではない、実質の伴う、文化政策を核とした街作りの事例を、豊岡市を中心に紹介。併せて、キラリ☆ふじみの芸術監督就任の経緯から、現代における劇場の役割についても総括頂き、ホール職員としてホールが地域とどのように関わっていくかを受講者と共に深める。

(4) 内容

講師より上記(3)に基づく講演を頂いた。

※受講者アンケートから以下のようなコメントがあった。

- ・平田氏の話をもそのまま地元を持ち帰りたい。
- ・平田氏の人脈や、舞台監督のスケールに驚いた。
- ・講演を聞いた後、他の受講生と話す会話の内容が変わり、影響を受けたと感じた。
- ・平田氏の話を生で聞けるとは思わなかった。
- ・文化からまちづくりにつながっていると初めて考えることができました。
- ・日本の抱える課題について、様々な角度で考える視点を学ぶことができた。
- ・劇場の取り組みが、廻り回って日本の未来を左右しているという話にはとても驚いたとともに、その責任の重さを感じた。
- ・コミュニケーション教育の大切さを再度実感した。教育委員会と連携して教育現場を見直していくことも重要だと感じました。
- ・役立つツールとして「アート」が消費されるだけではないという「アート」の力を再認識できる気づきがあった。



IV ステージラボ

いわきセッション

IV ステージラボ いわきセッション

1 コーディネーター・講師紹介

(1) ホール入門コース

●コーディネーター

龍 亜希（北九州芸術劇場プロデューサー）

[メッセージ]

いま社会が大きく変化するなか、公共ホール・劇場の存在と役割も変化してきました。舞台と客席を成立させることがすべての時代から、演劇、ダンス、音楽という芸術の持つ力を社会が持つ課題に提供するようになりました。

ホール・劇場にはアートプログラムとパブリックプログラムが存在します。地域の状況や劇場の目的とミッションによって画一的ではなく、それぞれに重点やバランスが違うと思います。今回は北九州芸術劇場で実施している事業を紹介するとともに、その中から障害者の皆さんを中心としたダンスカンパニー「レインボードロップス」の活動と、地元の高齢者の方々の記憶をモチーフに演劇作品を立ち上げる事業「Re:北九州の記憶」を中心に進めたいと思います。地域のホールで働く皆さんは日々目の前の業務を進めることで精一杯かと思いますが、そんな日々から少し離れて、実際にその力を感じ、それをどう活かせるかなどについて一緒に考えてみましょう。

[プロフィール]

2003年（公財）北九州市芸術文化振興財団・北九州芸術劇場 舞台事業課事業係において招聘公演を中心に制作を行う。この間、多くの演劇・ダンスの劇団やカンパニーと創作を含めた公演制作を行い、2009年より事業係チーフ、2012年より舞台事業課チーフを務める。2015年より北九州芸術劇場プロデューサーとして、自主事業全体の実施内容や年間ラインアップの調整等を行う。

●講師

田上 豊（劇作家／演出家／富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督）

津村 卓（一般財団法人地域創造プロデューサー）

セレノグラフィカ

隅地 茉歩（ダンサー／コレオグラファー）

阿比留 修一（ダンサー／コレオグラファー）

吉松 寛子（北九州芸術劇場）

(2) 事業入門コース

●コーディネーター

田村 緑 (ピアニスト)

[メッセージ]

我々を取り巻く社会が刻一刻と変化する今、「芸術文化を媒体に町を生き返らせることができるか。」が今回のテーマです。その町の存続に芸術文化が欠かせないものになったら、その地域にある公共ホールの存在は肯定され続けるものとなります。

芸術には幾重もの層があります。神聖な領域に昇華する芸術。普遍性・大衆性を獲得した芸術。今や社会の課題に対応できる芸術まで。一方、音楽事業も多層化しています。多くの人に来てもらいたい鑑賞事業。稼働率を高くしたい貸館事業。質の問われる普及事業に今後増えそうな創造事業。

今回、集う仲間と共に、音楽芸術に触れながら、そこに宿る潜在力を引き出し、音楽から得た力によって、ゼロから1を生み出す想像力・発想力を呼び起こし、町の存続に欠かせない芸術文化の観点から、地域と芸術の融合、音楽事業の新たなる可能性を考えてみませんか。我々の考える音楽事業によって、人が変わり、町が変わり、社会が変わる。海の幸・山の幸が溢れ、東北で一番温暖と言われるいわきでお待ちしています。

[プロフィール]

躍動感に満ち情感あふれる演奏スタイルと、在英経験を活かした独創的プログラムが特徴。全国各地で演奏活動を行う。普及の分野では先駆者的存在。地域と共にある新しい企画の開発、地域に貢献できる演奏家の育成など活動は多岐に渡る。英国ギルドホール音楽院ピアノ科首席卒業。ロンドン・シティ大学大学院修士課程修了。2016-2018 いわき芸術文化交流館アソシエイト・アーティスト。(一財)地域創造おんかつ支援登録アーティスト。

●講師

草野 達也 (いわき市三和支所)

長谷川 梢 (NPO 法人 MOCCS 理事長)

永山 肇一 (三和町区長会会長)

常光 今日子 (ヴァイオリニスト)

中尾 友彰 (新潟市芸術文化会館りゅーとぴあ)

大月 ヒロ子 (ミュージアムエデュケーションプランナー／有限会社アイデア代表取締役)

セレノグラフィカ

隅地 茉歩 (ダンサー／コレオグラファー)

阿比留 修一 (ダンサー／コレオグラファー)

(3) 公立ホール・劇場マネージャーコース

●コーディネーター

篠田 信子（富良野メセナ協会代表）

[メッセージ]

公共ホールや劇場は設置自治体の文化政策が背景にあって建設されているものです。文化を生かして地域をどのようにしてゆくのか、地域住民の生活をどのように変えてゆくのか、それらを具現化する現場として公共ホール・劇場があると考えています。

近年は価値観が変化し、期待される役割が多様化されています。文化芸術の価値を高めることから経済や社会への波及性に対する価値観が重視され、地域の特色や地域の資源をいかした文化事業を行うことが求められています。本マネージャーコースでは、地域資源に着目し、自治体の文化政策とその政策を実施している施設の文化事業を紹介しつつ、心豊かな生活と活力ある社会を創出する施設運営を行うための課題を共有し、今あるべき公共ホール・劇場等のあり方について皆さんと一緒に考えたいと思います。

[プロフィール]

1948年北海道生まれ。夫の転勤で富良野に来て、演劇創作活動をしている人達と出会う。1996年、ふらの演劇工房の活動を開始し事務局長、理事長を歴任。2000年、公設劇場「富良野演劇工場」を受託し工場長（館長）をしてオープンにこぎつける。2006年、NPO理事を辞任し独自でプロデュース、コーディネーターを始める（「C-プランニングフラノ」主宰）。2007年、地元企業の資金応援を得て「フラノデリス・メセナ事業」を発足、2009年度より「富良野メセナ協会」に名称変更した。2011年、倉本聰氏が富良野市に寄贈した喫茶店「北時計」を、文化発信基地となるべく受託し名称を「喫茶・ギャラリーあかなら」に変更し運営している。現在、富良野メセナ協会代表。喫茶・ギャラリーあかなら代表。2020東京オリンピックパラリンピック文化教育委員。

●講師

吉本 光宏（ニッセイ基礎研究所 研究理事）

母袋 創一（前上田市市長）

園山 土筆（しいの実シアター 芸術監督）

津村 卓（一般財団法人地域創造プロデューサー）

IV ステージラボ いわきセッション

2 研修プログラム

■ 2月18日(火) 第1日

	ホール入門コース	自主事業(音楽) コース	公立ホール・劇場マネージャーコース
	コーディネーター 龍 亜希 北九州芸術劇場プロデューサー	コーディネーター 田村 緑 ピアニスト	コーディネーター 篠田 信子 富良野メセナ協会代表
主会場	小劇場	大リハーサル室	中リハーサル室
9:00			
10:00			
11:00			
12:00			
13:00			
14:00	13:30～ 受付		
14:00	14:00 開講式・オリエンテーション 会場：小劇場		
15:00	15:00～17:30 ゼミ1「お互いを知りあうじかん ～演劇ワークショップ」 講師：田上 豊 会場：小劇場	15:00～17:00 ゼミ1①「仲間と出会う、音と出会う、 4日間のテーマの共有」 講師：田村 緑 会場：大リハーサル室	15:00～15:30 はじめに「簡単な自己紹介」 講師：篠田 信子 会場：中リハーサル室
16:00			
17:00		17:00～17:30 ②「三和地区バスツアーに向けて」 講師：草野 達也、田村 緑 会場：大リハーサル室	15:30～17:30 ゼミ1「公共ホールの果たす 役割・芸術活動と公共性」 講師：吉本 光宏 会場：中リハーサル室
18:00	休憩・移動	休憩・移動	休憩・移動
19:00	18:00～19:30 全体交流会 会場：いわきワシントンホテル 宴会場		
20:00			
21:00			

■ 2月19日(水) 第2日

	ホール入門コース	自主事業(音楽) コース	公立ホール・劇場マネージャーコース
	コーディネーター 龍 亜希 北九州芸術劇場プロデューサー	コーディネーター 田村 緑 ピアニスト	コーディネーター 篠田 信子 富良野メセナ協会代表
主会場	大リハーサル室	三和地区フィールドワーク	中リハーサル室
10:00		9:00~12:10 ゼミ2「町と出会う①」 (三和地区へのバスツアー) 講師：長谷川 梢 視察先：會田様邸、 いこいの学校長居小、 旧差塩小学校	
11:00	10:00~12:30 ゼミ2「公共ホール・劇場の 変遷と現在の課題」 講師：津村 卓、龍 亜希 会場：大リハーサル室		10:00~12:00 ゼミ2「地域課題に気づき 挑戦してきた事例」 講師：篠田 信子 会場：中リハーサル室
12:00			
13:00	昼食・休憩	昼食・休憩 きのことマサ	昼食・休憩
14:00	13:30~17:15 ゼミ3「北九州芸術劇場の 取組みから(事例紹介)」 講師：セレノグラフィカ、 吉松 寛子、龍 亜希 会場：大リハーサル室	13:40~16:00 ゼミ3「町と出会う②」 (三和地区へのバスツアー) 講師：永山 肇一、 常光 今日子、田村 緑 視察先：OJONCO館、福寿草、 上三坂公民館	13:00~15:00 ゼミ3「ホール設置者からの メッセージ」 講師：母袋 創一 会場：中リハーサル室
15:00	(適宜休憩)		休憩
16:00			15:15~17:15 ゼミ4「地域に根差した 企画運営の実践現場から」 講師：園山 土筆 会場：中リハーサル室
17:00	休憩・移動(15分程度)	移動・休憩	休憩(15分程度)
18:00	17:30~19:30 共通プログラム「いわきアリオス アウトリーチ事業「おでかけアリオス」より んまつーポス 身体表現 ワークショップ を体験しちゃう！」 講師：んまつーポス、高橋 るみ子 会場：中劇場		
19:00			
20:00			

■ 2月20日(木) 第3日

	ホール入門コース	自主事業(音楽) コース	公立ホール・劇場マネージャーコース
	コーディネーター 龍 亜希 北九州芸術劇場プロデューサー	コーディネーター 田村 緑 ピアニスト	コーディネーター 篠田 信子 富良野メセナ協会代表
主会場	小劇場	大リハーサル室	中リハーサル室
10:00			
11:00	10:00~11:45 ゼミ4「(学校)アウトリーチについて考える~プログラム体験」 講師：セレノグラフィカ、吉松 寛子、龍 亜希 会場：小劇場	10:00~11:20 ゼミ4「地域と芸術の融合：ゼロから1へ。企画を生む」 講師：中尾 友彰 会場：大リハーサル室	10:00~12:00 ゼミ5「総括」 講師：津村 卓、園山 土筆、篠田 信子 会場：中リハーサル室
12:00	昼食・休憩	11:35~13:00 ゼミ5「地域と芸術の融合：ゼロから1へ。コミュニティを生む」 講師：大月 ヒロ子 会場：大リハーサル室	12:00~13:00 アンケート記入・休憩
13:00		昼食・休憩	12:30~13:00 修了式 会場：中リハーサル室
14:00	13:00~14:45 ゼミ5「事前ディスカッション~最終日の企画発表に向けて」 講師：龍 亜希 会場：小劇場		
15:00	休憩	14:10~15:55 ゼミ6「地域と芸術の融合：ゼロから1へ。芸術と遊ぶ」 ① ベートヴェンと遊ぶ ② 言葉と遊ぶ 講師：セレノグラフィカ、田村 緑 会場：大リハーサル室	
16:00	15:00~19:30 ゼミ6「コンテンポラリーダンスのじかん~知って、体を動かして、つくってみる」 講師：セレノグラフィカ 会場：小劇場	16:00~19:30 ゼミ7「企画立案」 講師：田村 緑、大月 ヒロ子 会場：大リハーサル室	
17:00	(適宜休憩)	(適宜休憩)	
18:00			
19:00			
20:00			

■ 2月21日(金) 第4日

	ホール入門コース	自主事業(音楽)コース	公立ホール・劇場マネージャーコース
	コーディネーター 龍 亜希 北九州芸術劇場プロデューサー	コーディネーター 田村 緑 ピアニスト	コーディネーター 篠田 信子 富良野メセナ協会代表
主会場	中リハーサル室	大リハーサル室	
9:00			
10:00	9:30～11:30 ゼミ7「企画発表のじかん」 講師：龍 亜希 会場：中リハーサル室	9:30～11:30 ゼミ8「発表・フィードバック・ まとめ」 講師：田村 緑、大月 ヒロ子 会場：大リハーサル室	
11:00			
12:00	11:30～12:00 アンケート記入・休憩・移動	11:30～12:00 アンケート記入・休憩・移動	
13:00	12:00～13:00 修了式 会場：小劇場		
14:00	※修了式後、各コース毎に解散	※修了式後、各コース毎に解散	
15:00			
16:00			
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			

IV ステージラボ いわきセッション

3 各コースについて

(1) ホール入門コース

①総評

コーディネーター 龍 亜希

北は北海道から南は福岡まで、全国のホール・劇場からたくさんご応募いただき、今回は20名にご参加いただきました。本当にありがとうございました。そして、あらためまして4日間お疲れさまでした。

今回、ホールや劇場で働く動機や背景がそれぞれに違い、実際携わっている業務もばらばらな20名の参加者の皆さんに、このコースを通してどういったことを感じてもらえるか、自分自身が皆さんに伝えることが出来るとしたらそれは何なのかといったことからプログラムの内容を考えていきました。

そして行き着いたのは、徹底的に芸術の力を感じてもらうプログラムにしようというものでした。あいさつ文でも触れましたが、日々様々に変化する社会の中でホールや劇場に求められる役割も多様なものとなり、私たちが向き合わなければならないことは膨大にあると言っても過言ではないと思います。ただ、実際のところは日々目の前の業務に時間を取られ、それについて考えたり、そこに思いをはせたりすることすらも難しいかもしれません。ましてや自らが芸術を体験するという側に立つ機会はなかなか無いと思います。

そんな日々から少し離れるこの4日間に、ジャンルは何であれ、“芸術”によってどう気持ちが動くのか、どんな風に体が反応するのかといったようなことを実体験としてたくさん感じてもらうことで私たちが扱う“芸術”が持つ力をご自分の中で見つけてもらいたいと思ったのです。

演劇のワークショップからはじまり、ダンスのアウトリーチプログラムの体験、そしてダンス創作ワークショップでは短いものではありませんがオリジナルのダンス作品をつくり、舞台上で発表するということまで体験してもらいました。すべてのワークを通じて、とても印象的だったのは皆さんの身体がとても素直に反応し、表情も姿勢もどんどん上向きに変化していったことです。

また、ゼミの中では北九州芸術劇場をひとつの事例として取り上げ、劇場のミッション・コンセプトに基づいた様々な事業展開や地域と向き合いながら進めている長期的なプロジェクトなどについて実際に長く関わっていただいているアーティストや劇場担当者に紹介してもらいました。うまくいった話やそうでない話も含めて皆さんにはすべて知っていただいた上であくまでもひとつの参考として何かお役に立てることがあれば大変うれしく思います。

そして、最終ゼミではグループごとに企画発表をしていただきました。そこで皆さんが考えた企画がとても素敵なものばかりで私が参考にさせてもらいたいと本気で思ったほどです。今自分が置かれている状況やそこでの悩み、実際に目や耳、頭や体を通して感じたり考えたりした思いをお互いに交換し合い共有することであたらしい物事の捉え方を発見したり、思いもよらなかったアイデアが生まれたりする瞬間のきらめきをたくさん見ることができました。皆さんのディスカッションの様子や発表の際の表情を見ながら、私自身もとてもワクワクしましたし、皆さん本当に素敵でした。

頭と体を酷使した4日間を経て、ご自分のホールに戻り日常の業務に向き合っている今、皆さんが前とは少し違う何かを感じ、芽生えた小さな気付きを丁寧に育てながら、やがてそれが大きな動きとなってそれぞれの地域から発信される日を楽しみにしています。

最後になりますが多忙な中ゼミを引き受けてくださった講師の皆さま、ホール入門コースのコーディネーターという貴重な機会をくださった(一財)地域創造の皆さま、そして会場提供や舞台設営等に多大なご協力をいただいたいわき芸術文化交流館アリオスの皆さまに心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

②ゼミ記録

第1日 2月18日(火)

ゼミ1：「お互いを知りあうじかん～演劇ワークショップ」

講師：田上 豊

小劇場の舞台上にて、劇作家・演出家の田上豊さんによる演劇ワークショップを実施した。自己紹介の時間は特に設けず、演劇的な手法を用いたプログラムを通して先入観を持たずにお互いを知りあい、想像力や創造力を使う体験をしてもらった。その後、車座になったのフィードバックを行い、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみでの取組みやこれまでの田上さんの活動について話していただく中で積極的に質問が出る場面もあった。演劇にあまり馴染みのない参加者も多数いる中、緊張した雰囲気がほぐれていく過程やワークをストレートに楽しんでいる姿を見ることができ、演劇に対するイメージを前向きに捉えてもらえるきっかけになったのではないかと思った。



第2日 2月19日(水)

ゼミ2「公共ホール・劇場の変遷と現在の課題」

講師：津村 卓、龍 亜希

自己紹介とともに今抱えている悩みをひとりずつ発表し全員で共有した後、公共ホールの歩みと役割の変化について（一財）地域創造プロデューサーの津村卓さんにお話しただいた。まちの規模や施設の設置年数などはもちろん、それぞれ一人ひとりのバックボーンやラボ参加理由も違う中、職務経験がまだ浅い方たちなりの視点での悩みや課題がはからずも同じような内容のものである場面もあり、大変興味深い時間となった。また、ホールの変遷の大きな流れの中でそれぞれ自身のホールがどういう位置にあるのかを知り、その存在を客観的に意識することができる機会になったことも良かったと思う。



ゼミ3「北九州芸術劇場の取組みから（事例紹介）」

講師：セレノグラフィカ、吉松 寛子、龍 亜希

北九州芸術劇場の施設概要やミッション、コンセプトに基づく事業を紹介。取組みの全体像をまず知ってもらった上で、その中から福祉分野でのダンスプロジェクト「レインボードロップス」について立ち上げ当初より関わっていただいているセレノグラフィカのおふたりに、地域の高齢者の記憶を演劇として残す取組み「Re：北九州の記憶」に長く携わってきた北九州芸術劇場チーフの吉松さんにそれぞれお話していただいた。実際に現場で起こったエピソードや進める中での押さえるべきポイントなど、アーティスト側、その事業を実施する劇場側それぞれの立場からの生の声を参加者のみなさんが真剣に聞く様子が印象に残った。



第3日 2月20日（木）

ゼミ4「(学校)アウトリーチについて考える～プログラム体験」

講師：セレノグラフィカ、吉松 寛子、龍 亜希

はじめに、セレノグラフィカのお二人による学校アウトリーチプログラムを体験してもらった。45分という短い時間ではあったが、参加者を小学3年生と仮定してプログラムを実施してもらったことで、子どもたちへの声掛けや言葉の使い方なども含めてアーティストが実際にどのように子どもたちと向き合っているかをより身近に感じてもらうことができたと思う。ワークの後は振り返りを行い、アーティスト側からアウトリーチにおける子どもたちへの可能性や気を付けている点などを伺い、実際に学校で実施するまでの流れやポイントなどコーディネーターとしての役割について北九州芸術劇場をひとつの事例として劇場の吉松さんにお話しいただいた。



ゼミ5「事前ディスカッション～最終日の企画発表に向けて」

講師：龍 亜希

今までのゼミを通して、インプットした情報や実際に体験して感じたことを自分なりにアウトプットする時間とした。各々でいくつかの企画を考えた後、1グループ5名・全4グループに分かれてそれぞれが考えた企画を持ち寄り、最後のゼミ7での企画発表の前段階として、その企画の実施目的やそこに込められた想いを共有してもらった。その後、自主事業（音楽）コースのダンス×ピアノコラボ（ゼミ6①ベートーヴェンと遊ぶ）作品の鑑賞をさせてもらい、「観る」「聴く」という体験ができたことは初日からのゼミを通して感じてもらったことともまた違った角度から芸術体験をしてもらえる良い時間になった。



ゼミ6「コンテンポラリーダンスのじかん～知って、体を動かして、つくってみる」

講師：セレノグラフィカ

セレノグラフィカのお二人に、いくつかの地域でのプロジェクトについての活動内容とお二人が思うダンスの魅力などについて語っていただいた後、ダンスの創作ワークショップを実施。まず創作作業に入る前段階としてのワークを60分程度、その後4グループに分かれてグループごとにオリジナルのダンスを創り、舞台の使い方や音・照明のきっかけも自分たちで決めるという体験をしてもらった。最後にひとつの作品としてセレノグラフィカのお二人に構成していただき、自主事業（音楽）コースのみなさんを観客としてお迎えし小劇場で発表した。受け身の状態だけでなく、つくる＝創造するという身をもって経験してもらうことで、芸術が持つ力を何か少しでも感じてもらえることが出来たのではないかなと思う。

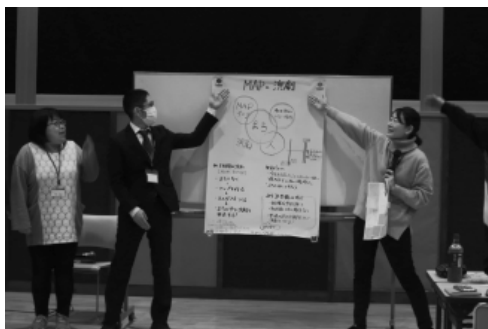


第4日 2月20日(金)

ゼミ7「企画発表のじかん」

講師：龍 亜希

ゼミ5を引き継ぐ形で、グループごとに分かれてひとつの企画を考えてもらい、発表した。「どういう場所で、どんな人たちを対象に、〇〇(芸術のジャンル)の力を使って、何をやりたいか。そして、その狙いは？」ということを中心に話し合い、模造紙1枚に自由にまとめてもらった。その地域やホールが抱える課題をしっかりと踏まえた上で、これまでのゼミで自分たちが体験したことや感じたことを要素として組み込んだ形で考えられていて、本当にユニークで各グループともに今すぐにでも実現できそうな(是非実現して欲しい!)企画ばかりだったことがとても強く印象に残った。また、発表に対しても他のグループから具体的な質問が出るなど積極的に双方向のやり取りがされる場面もあり、コース全体を通して前向きな気持ちで4日間を終えることができたのではないかと思う。



(2) 自主事業（音楽）コース

①総評

コーディネーター 田村 緑

ステージラボいわきセッション 自主事業（音楽）コースの皆さん、4日間の研修お疲れ様でした！

新型コロナウイルスの影響が大きく出る直前に、皆で修了式を迎えることができた幸運を感じています。今は、ラボの余韻に浸る間もなく、様々な対応に追われていらっしゃるものと察しながら執筆しております。

今回の音楽コースでは、テーマを掲げ、様々な活動をしながら大切にすることがありました。それは今回出会う全てにおいて「感性のアンテナを持つ」ことでした。以前、普及事業で伺った先の校長先生が「どんなに校長講和で良いことを言っても、その言葉を子供自身が自分に響かせる力＝感性がなければ、ただの雑音になってしまう。全ては感性にかかっているから、芸術に触れ、感性に働くこの活動を応援します」と仰った言葉に深く共感した私は、以来、相手の感性に訴えるだけでなく、参加者が自らの感性を自覚していくプログラムをデザインするようになりました。そして今回、人を変え、町を変える力のある芸術文化を取り扱う皆さんが、ご自身の感性に向き合いながら考察を深めるプログラムを展開していくことになったのです。

16名の皆さんは、それぞれ心が動いたことが沢山あった様子でした。バスツアーでは、三和の空気を肌で感じ、人の温もりや熱意に触れ、手作りの郷土料理に満足を覚えました。その上で三和の人々が直面している課題に、もはや他人事ではなく共に考え、更にご自身の地域にも思いを馳せました。いわきアリオスでは、座学や参加型ゼミを通し講師の方々に出会い、様々な芸術に触れるだけでなく、自分たちでも芸術を生み出し、表現するという共通体験を重ねました。そして今回のテーマ「芸術を媒体に町を生き返らせることができるか」に向き合い、企画・発表・考察へと進みました。芸術の多様性を体感しながら、「地域の強さ・課題・未来」を深く考えた皆さんの発想は、とても自由で機智に富んでいました。皆さんの様子から、感性とは、その人自身が自分を開放し、自由にすることができる素晴らしい「Key=鍵」なのだと思います。

これから先、様々な現場で事業に関わられる中、常にご自身の感性に立ち戻り、また、向き合う方々の感性も尊重しながら、「ご自身にとって芸術・地域とは何か。」自分に、そしてチームに何ができるか、折に触れて自問されながら、自由な発想を持って、日々笑顔で過ごされることを陰ながら応援しております。そして、「日々の小さな一歩が未来を変える大きな力になりますように。」改めて、この場をお借りして音楽コースの皆さんに感謝とエールをお送りします。最後に、準備段階から素晴らしいサポートをして下さったコース付きスタッフの皆様、心に残るゼミをして下さった講師の皆様、完璧なサポートと共にハイ・スペックな会場をふんだんに使わせて下さったいわきアリオスの皆様、今回、コーディネーターという貴重な機会を与えて頂いた（一財）地域創造の皆様、本当にありがとうございました。

②ゼミ記録

第1日 2月18日(火)

ゼミ1：①「仲間と出会う、音と出会う、4日間のテーマの共有」

②「三和地区バスツアーに向けて」

講師：田村 緑、草野 達也

天井が高く、響きの良い、外の景色も一望できる大リハーサル室が音楽コースの本拠地。この空間を3つに分け（巡＝座学、揺＝演奏、憩＝昼を敷き詰めた場所）活動を展開します。まずは「憩空間」にて、お互いの特徴を一文字漢字で表しながら他己紹介。紹介されたり紹介したり、お話の仕方にも個性が表れていました。次に「揺空間」にて、体験型メインの音楽タイム。風船を使って音の構造の可視化、大リハ室のキャットウォークにも上り、大空間に散らばっての共演まで。仲間、そして音楽を肌で感じた様子で、笑顔が見られる時間となりました。続いて「巡空間」で今回のテーマ共有。「地域」と「芸術」の融合とは何か。その接点を探る日々が始まります。翌日のバスツアー先、いわき市三和地区・三和支所の草野氏に地域の特徴を紹介頂きました。最後に、4日間を通し、受講生の心の模様をコラージュ作成し、時間軸で掲げていくための作業も開始しました。



第2日 2月19日(水)

ゼミ2「町と出会う①」（三和地区へのバスツアー）

講師：長谷川 梢

視察先：會田様邸、いこいの学校長居小、旧差塩小学校

講師やスタッフを含め総勢24人で三和地区へ一日バスツアー。お天気にも恵まれ、大人の遠足の始まり。まずは三和の入り口に位置する個人宅へ。かつて造り酒屋だった頃の蔵が残る印象的な建物。皆がすっぽり入る大きな土間で、100年以上前の梁を愛でつつ、お宅の歴史や、以前お宅を開放して頂き一緒に創ったコンサートの話を伺いました。「コンサートを通してどんな変化が地域に起こりましたか。」という質問も。続いて、4年間廃校だった小学校へ。永井小は長居小と改名され「いこいの学校」として3ヶ月前にオープン。運営者であるNPO法人MOCCSの長谷川氏に話を伺いました。地元の方の声に耳を傾け、どんどん改良を加えていく姿は、正に挑戦の現場でした。次に、廃校になったままの差塩小学校へ。二つのケースを同時に見ることで、「何かを生み出す」ことを

より鮮明に実感できた様子でした。

昼食は、地元の食材をふんだんに使った自然薯鍋やきのご飯を堪能。地元の豊かさに触れ、和んだ様子でした。



ゼミ3「町と出会う②」（三和地区へのバスツアー）

講師：田村 緑、永山 肇一、常光 今日子

視察先：OJONCO 館、福寿草、上三坂公民館

上三坂地区へ。地域おこし協力隊の菊田清貴氏のガイドで散策。続いて上三坂公民館にて、キーパーソンである上三坂区長の永山氏による町の過去・現在・未来のお話。地域の課題に一心に取り組む背景に「ふるさとが好き」という純粋な想いがあり、その想いこそが「まちづくりの原点」ではないか。また「関係人口」に着目されてるお話も心に届いた様子。以前ご一緒させて頂いた「おでかけアリオス・三和プロジェクト」により、復元されたグランド・ピアノでミニ・コンサート。おでかけアリオス研究会1期生VI・常光氏との共演も。最後に三和の冬の代名詞・凍み餅をふるまって頂き、心もお腹も満たされた様子でした。バスガイドはアリオスの谷健治氏。三和の紹介から、受講生のふるさと自慢、地域再生の事例紹介まで。戻って10分で作成したコラージュは、三和の体験がいかに豊かなものであったかということが一瞬で感じられる力作揃いでした。



～受講生の感想の紹介～

- 普段、都心部にばかりいるので、日本の原風景を久しぶりに見ることができ、心が和みました。三和地区の人の懐の深さ、温かさをダイレクトに感じました。でも、その裏には、地域の抱える様々で深刻な課題があることも考えていかねばならないと思いました。上三坂区長さんの「関係人口」という言葉は、どの地域、どの施設でも大切にしなければならないものだと思います。
- 廃校の活用法に触れ、地域振興のあり方を学べて良かったです。また、人の温かさにも触れられ、自分の地域での音楽の取り入れ方をもっと考えたいとも思いました。

- 三和の方々の「分け合う文化」に深く心打たれました。寒い地域だからこそ、みんなで繋がり、温め合う文化が、東京には無いもので、とても美しく目にうつりました。
- 気候（寒い）を利用した食べ物、お餅や漬物など発想が面白い。寒いからこそできる郷土料理。
- ご飯がとても美味しかった。ストーリーを交えてのミニコンサートは感動しました。ほんとに胃ぶくろをつかまれるという表現が適していると、ほんとに思いました。

第3日 2月20日（木）

ゼミ4「地域と芸術の融合：ゼロから1へ。企画を生む」

講師：中尾 友彰

今日からテーマは「ゼロから1へ」。“企画が生まれる前”に着目し、皆さんが1を生み出す発想力を呼び起こす狙い。最初の座学はワンコイン・コンサート・シリーズの産みの親、新潟市民芸術文化会館りゅーとびあ・中尾氏。20年前に発案した際の背景・ミッション、そしてこのコンサートが現在の会館の他の事業とどう繋がり、何を達成するための位置付けとなっているか、詳しくお話し頂きました。中尾さんが憧れていらっしゃる上司の寺田尚弘氏（事業企画部長）による寺田語録の紹介も。どの言葉も説得力があり、企画者・制作者としての在り方の本質を共有頂きました。質問アプリを使用し、リアルタイムで飛び込んでくる質問に、講義中に答えていくスタイルもアップテンポで心地よく、最後の質疑応答も含め、皆さん充実の80分を過ごした様子でした。



ゼミ5「地域と芸術の融合：ゼロから1へ。コミュニティを生む」

講師：大月 ヒロ子

続く座学はIDEA.incの大月氏による、岡山県玉島で進行中のアートを紹介したコミュニティ創生についてのお話し。「ゼロから1」というテーマに対し、ご自身の活動を $-1 \times -1 = 1$ という概念に置き換えて話し始められ、クリエイターらしい一面を感じました。廃材を宝として見出す感性、その廃材を使ってアートを生み、人を繋ぎ、コミュニティの形が紡がれて行く。様々な事例をお話し頂く中、昨日、三和バスツアーで廃校を訪れた際の大月さんのご様子を思い出しました。私たちが通り過ぎる中、すご〜い、これかわいい〜、いいじゃ〜んこれ〜！と言



ながら足を止め、嬉しそうに手に取る様子。その感性を共有させてもらい、今度は私たちが新しい眼と心で廃校に置き去りにされた物を見初める。これぞアーティストの力です。受講生の皆さんに感性の伝播が起こった様子でした。冒頭に行った廃材アートを使ったゲームも、コミュニケーションを円滑にし、場が和む素晴らしいものでした。

ゼミ6「地域と芸術の融合：ゼロから1へ。芸術と遊ぶ」

① ベートヴェンと遊ぶ ② 言葉と遊ぶ

講師：田村 緑、セレノグラフィカ

午後は、芸術に触れながら、いよいよ皆さんが自ら0から1を生み出す時間に移っていきます。前半は、入門コースの皆さんと合同で鑑賞タイム。ベートーヴェン生誕250周年に因み、ベートーヴェンとルービンシュタイン編曲のトルコ行進曲聴き比べや、ダンスカンパニーのセレノグラフィカと創作を進めているベートーヴェン最後のピアノ作品を使ってのダンス×ピアノコラボを鑑賞してもらいました。後半は、音楽コースのメンバーと見学頂いている方々と一緒に創作WS。谷川俊太郎「生きる」を題材に、私たちにとっての「生きる」を考え、皆で創作詩を即席で紡ぎます。また、連を表す音のグループ創作も加えたところ、楽しそうに、且つ効率よく決めていく姿に、今回の音楽コース・カラーが浮かび上がってきました。最後の発表では、皆さん伸び伸びと表現しており、ラボの醍醐味を感じました。この時点で、最後のコラージュ作成。皆さん感性が開かれた様子。解放され自由な感じがコラージュにも現れ出し、皆さんの豊かなクリエイティビティを楽しませてもらえる時間となりました。



ゼミ7「企画立案」

講師：田村 緑、大月 ヒロ子

まずはこの3日間で得たことを全員で振り返ります。出かけたことによって見えた町の良さと課題。またご自身の故郷にも重ね、改めて「地域の持つ良さとその課題」を抽出。また、今回触れた様々な芸術から、改めて「芸術の良さとその課題」を抽出。その上で一人5つ、自由な発想で企画を考えてもらいました。その後、5つのグループに分かれ、地域の良さを活かしながら、同時に地域の

持つ課題を解決する取り組みとしての企画を考える作業に移りました。経過は大月氏が耳を傾けて下さり、議論を深めていった様子でした。途中、入門コースによるダンス創作発表の鑑賞タイムに伺い、皆さんの表現に刺激を受けた様子。その後の議論も自由闊達でした。ラボで経験した様々な創造的体験が活かされていると感じました。皆さんのコラージュも完成。時間軸に沿って飾ることにより、皆さんの心の変化も映し出され、見応えのあるアート作品が誕生しました。



第4日 2月20日(金)

ゼミ8「発表・フィードバック・まとめ」

講師：田村 緑、大月 ヒロ子

発表タイムへ。どのグループも地域の課題に直に斬り込みつつ、地域資源をメリットとして活用することを盛り込み、明日にでも実行してみたいくなるような楽しさが詰まっている企画案でした。今回のグループ分けは、前日の創作音詩WSの際に連で繋がり、創作活動をした仲間単位にした事もあってか、発表の連携もスムーズ。どのグループも聴き応え&見応えあるプレゼンテーションでした。その後、完成したコラージュ作品と、大月氏が皆さんの作品を撮影して下さったアート写真をプロジェクターで流しつつ、ベートーヴェン：悲愴ソナタ第二楽章を演奏、アート空間の中で4日間を振り返りました。そして、今回のテーマ「芸術を媒体に町を生き返らせることができるか」に対してのそれぞれの答えを共有し、最後に、大リハ空間の好きな場所に散らばって、「Shenandoah」を聴いてもらいました。音と共に締めくくる音楽コースとなりました。



～曲目リスト～

2020年2月18日 「音と出会う」

ピアノ：田村緑

■フランス民謡（木下牧子編曲）：キラキラ星

■モーツァルト：「ねえ、ママ聞いて」による12の変奏曲

Wolfgang Amadeus Mozart: 12 Variationen über ein französisches Lied "Ah, vous dirai-je, maman"

■ラヴェル：水の戯れ

Maurice Ravel: Jeux d'eau

■パッヘルベル：カノン

Johann Pachelbel: Kanon

2020年2月19日 「ミニ・コンサート～復元されたピアノと共に～」

ヴァイオリン：常光今日子 ピアノ：田村緑（上三坂公民館）

■松谷卓：「匠」～大改造！劇的ビフォーアフターより～

■ヴィヴァルディ：「冬」 第一楽章 第二楽章

～ヴァイオリン協奏曲集、和声と創意の試み「四季」より～

Antonio Vivaldi: L'Inverno, Le quattro stagioni, Il cimento dell'armonia e dell'inventione

■ホルスト：組曲「惑星」より第4曲「木星」

Gustav Holst: Jupiter ~ the Bringer of Jollity ~, from the Planets

■ポンセ：エストレリータ

Manuel María Ponce: Estrellita

2020年2月20日

「芸術と遊ぶ」

ダンス：セレノグラフィカ ピアノ：田村緑

■ベートーヴェン：トルコ行進曲

Ludwig van Beethoven: The Turkish March

■ベートーヴェン（ルービンシュタイン編曲）：トルコ行進曲

Ludwig van Beethoven: Rubinstein: The Turkish March

【バガ・ダンス・テルをあなたと】

使用曲目：ベートーヴェン作曲「6つのバガテル」作品126

第一曲：ト長調 第二曲：ト短調

第三曲：変ホ長調 第四曲：ロ短調

第五曲：ト長調 第六曲：変ホ長調

■グールド：ブギウギ・エチュード

Morton Gould: Boogie-Woogie Etude

「言葉と遊ぶ」

谷川俊太郎：「生きる」～クライスラー：愛の喜びとともに～

創作音詩：「生きる」：田村緑&ステージラボ音楽コースの皆さん

2020年2月21日「Farewell」ピアノ：田村緑

■ベートーヴェン：ピアノソナタ悲愴 第二楽章

Ludwig van Beethoven: Piano Sonata No.8 c-minor op.13, II

■アメリカ民謡：シェナンドー

American Folk Song: Shenandoah



(3) 公立ホール・劇場マネージャーコース

①総評

コーディネーター 篠田信子

このコーディネーターのお話があった折、現在は直接ホール運営に関わっていないこともあり悩みました。しかしわずかな劇場運営経験と現在も携わっている文化活動から参加者の悩みや課題は少なからず共有出来、共に解決の糸口を見いだせたら良いと考えました。

打ち合わせ当初からホール入門コースや自主事業コースの華やかなプログラムのバラ色コースと比べると、ひたすら座して耳、目、脳を働かせるこのコースは茶色コースだな・・・と。しかし最後には心にほんのり色付けてくれるのを期待してプログラムを組みました。

今回参加の管理職の立場にいる方々は、年度末の厳しい時期であり大変だったとお察しします。我がコースは8人（直営一人、あとは指定管理）という少人数だったので、じっくり対話しながら進めようと決めました。事前アンケートではどの館も「良いホールにしたい」という想いは共通だが、直面する課題に悩みも大きいようでした。

特に指定管理の方は、そもそも設置目的がはっきりしないホールや劇場を受け、且つ設置者とのコミュニケーションもままならないことのジレンマ、評価、人材育成への悩みなどを浮き彫りにされていました。

まず、俯瞰して文化芸術の置かれている現状を理解し、果たす役割を認識していただくことが重要だと思い吉本光宏氏に考える土台を作っていただきました。それから設置者としての実践事例、各地の民間実践事例を通して課題解決の糸口を見つけることを目的にしたプログラムです。

一方通行を避け全てのゼミ毎に後半30分は質問時間をとりました。特に最後のゼミ5は、3日間お世話になったアリオスのコース担当者の方にもお入りいただき、質問や悩みを吐き出す時間です。津村卓氏、園山土筆氏と共にすべての時間をフリートークにしました。

どんな難問疑問にも的確に答えてくださるお二人の講師に、参加者もどンドン熱が入っていました。参加者各自が課題に気付き解決方法に光が差したのであったら幸いです。

時間が余るか懸念しましたが、結局は時間が足りないくらい全員が積極的に発言し取り組んでいただいたことに感謝します。

職場の上司が楽しく仕事をしていなければ、部下は楽しいはずはありません。特に希望をもって入って来た新人職員を失望させないよう願っています。楽しい職場には人は集ることを信じます。

今回出会った方々のネットワークをどれだけ生かせるかは参加者の努力次第です。一度の研修で各地の課題解決できるはずはありません、今スタートを切ったつもりでどん欲に利用していただきたい。この講師や仲間との出会いは宝です。利用しあってこそ今回のステージラボに参加した意義があります。

共通プログラムでは心も解放してダンスに取り組みモノクロから徐々にカラーになっていくのがわかりました。

今回のラボでは地域創造の方々やアリオスのスタッフの方々の素晴らしい受け入れ方が、とりもなおさず館を運営している立場の参加者にとって最高のお手本になったことと思います。心からお礼申し上げます。

②ゼミ記録

第1日 2月18日(火)

はじめに：「簡単な自己紹介」

講師：篠田信子

短時間で場が和むことを目的に、各地から自慢の一品持ち寄りのお土産を紹介しつつ一人3分で自己紹介してもらいました。食べ物、工芸品、館の物販品などの紹介をしながら初対面の硬さが抜けたようです。

ゼミ1「公共ホールの果たす役割・芸術活動の公共性」

講師：吉本 光宏

最も基本的なこと「なぜ公共ホール・劇場を運営するのか」ということを再確認していただきたくて吉本氏にお願いしました。

文化芸術に対する世界の流れ、日本の流れ、現在置かれている状況が非常にわかりやすい講義でした。特に日本における変遷は今何をしなければならないのか、いや何をしなければならないのかを突き付けられたのではないかと感じました。

1990年代から急激に変遷してゆく芸術文化の進歩をキャッチしつつ、土台をしっかりと認識し、高みを見つめていかなければならないと示唆を受けました。

正にこれを理解して参加者は現実に立ち返ってほしいという願いでした。



第2日 6月26日(水)

ゼミ2「地域の課題に気づき挑戦してきた事例」

講師：篠田 信子

文化の香りには程遠かった地域で、文化活動に取り組んだ事例です。NPO 法人第一号取得後公設劇場を受託し、仲間と共に何度も「覚悟」「腹をくくる」決意をしながら文化の香る街を目指してきました。

地域の課題に気づき、地域の資源を見つけ生かそうと努力を続けています。

目的を定めぶれない理念と梯子を外さない仲間たちの想いが形になってきた富良野の事例です。地域に大小の文化拠点をつくさん作りたいと思い続け、現在も走り続けています。



ゼミ3「ホール設置者からのメッセージ」

講師：母袋 創一

是非公共ホールの設置者の立場からのお話しをしていただきたく母袋氏にお願いしました。市町村合併を実現し新たな街づくりを考えるに当たり、多くの仕掛けを試みながらホール建設にこぎつけた事例です。サントミュージゼ建設に当たっては、チャンスを待ち、基本法を作り、ホールの意義と役割など理念を熟知し、後世の整備費積み立てまで盛り込んだ理想的な公立ホール建設の在り方だと思いました。目先の評価を気にすることなくじっくり取り組むべきで、指定管理者制度になって設置者との話し合いが難しいという質問にも、第三者を入れて話し合うことの大切さを説いていました。



ゼミ4「地域に根差したホール運営の実践現場から」

講師：園山 土筆

50年にわたる演劇活動、NPOによる劇場運営などの豊富な経験から、劇場は何をすべきかを話していただきました。じっくり地域と向き合い、受け入れながら劇団や劇場の目指すところを理解してもらう努力は学ぶべきものが多いのです。また常に世界にも目を向け質の高い芸術性を求めて創作活動に邁進し、かつ国際演劇祭を開催し地域ブランドを高めている事例です。

常に状況を分析し課題解決に向かっていく姿勢、エネルギーには参加者も多くの示唆をいただいたと思います。しっかりした土台、理念の元の創作活動と館の運営だと改めて感服しました。



第3日 2月20日(木)

ゼミ5「総括」

講師：津村 卓、園山 土筆、篠田 信子

今回コースご担当のアリオスの職員の方2人も一緒に入っ
ていただき、全員でフリートークをすることにしました。
まず参加者からは今回の感想を聞きました。それぞれ課題
の糸口が見えてきたこと、地域に帰って何をとり組めるか
前向きな感想を考え深く聞きました。

その後全員が積極的に質問し、津村氏、園山氏が真正面か
ら受けて的確に対処をしていただきました。時間切れで話
し足りなかったことがあったようですが、この後は是非今
回の出会いを有効に使ってネットワークを広げていただ
きたいのです。このチャンスを生かすのも能力でしょう。



IV ステージラボ いわきセッション

4 共通プログラム

いわきアリオス アウトリーチ事業「おでかけアリオス」より
んまつーポス 身体表現 ワークショップ を体験しちゃおう！

(1) 日時・会場

令和2年2月19日(水) 17:30 ~ 19:30 いわき芸術文化交流館アリオス 中劇場 ほか

(2) 講師等

んまつーポス (クリエイティブ・ダンス・ユニット)

豊福 彬文 (ダンサー、振付家)

みのわ そうへい (ダンサー、振付家)

児玉 孝文 (ダンサー、振付家)

研究者等有識者・授業アドバイザー

高橋 るみ子 (宮崎大学産学・地域連携センター客員教授 舞踊教育)

(3) 概要及び目的

いわきアリオスを代表する事業の1つであるアウトリーチ事業「おでかけアリオス」の中から、3コースの参加者のみなさんの交流を深めていただく機会として身体表現ワークショップを体験していただいた。

体育教育から生まれ育ったダンスカンパニー“んまつーポス”が発案するワークショッププログラムには、想像する・話し合う・理解する・共有する・創作するなど、子どもたちの学びとなる要素がふんだんに盛り込まれています。大人社会にも必要となる他者の考えを理解し、互いに高め合い、協働する力を参加者のみなさんに楽しみながら磨いていただくことを目的とした。併せて、んまつーポスと実施しているおでかけアリオスの概要や、そこから派生した連携事業や広がり等を紹介した。

(4) 内容

初めに、2013年度からいわきアリオスとんまつーポスが実施しているアウトリーチ事業について、事業を始めた経緯や、7年間継続して実施している意図、そしてこの事業から派生して市内外の機関との連携事業が生まれたことなどを、事業担当者と講師の高橋氏とともに紹介。その後、参加者を対象におでかけアリオスでも実施している、んまつーポスによる身体表現ワークショップを実施した。

ワークショップ内容は、90分でダンスの映像作品を創るというもの。全員で覚えるパートを通し実際に踊りながらアイズブレイクし、その後参加者を各コース隔たりなく7グループに分け、グループ毎にダンスの創作活動へ。創作後、曲に合わせてグループで創作したダンスを繋いでいき、ダンス作品を仕上げた。その後、いわきアリオス館内のどこでどのように踊っている姿を撮影したいかグループ毎に決め、移動して撮影。同時に編集作業を進め、全てのパートの撮影を終え、中劇場に戻り、仕上がった映像作品を全員で鑑賞した。

コースを超えて参加者みなさんが協働し、互いに認め合いながらアイデアを積みかさねて創作していく過程がとても良く、完成した映像作品を全員で鑑賞した際には、参加者みなさんの笑顔と達成感に満ちた姿を窺う事ができ、目的を達成できたプログラムとなった。



V 参加者リスト

V 参加者リスト

1 ステージラボ 富士見セッション

(1) ホール入門コース

01.北海道	ほんま もとみ 本間 元望	公益財団法人札幌市芸術文化財団 教育文化会館事業部管理課業務係 事務職員	札幌市教育文化会館 開館年 1977 年 大ホール 1100席/3008㎡ 小ホール 360席/990㎡ 研修室 301 135席/218㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
	No. 1	〒 060-0001 北海道札幌市中央区北1条西13丁目 TEL 011-271-5821 / FAX 011-271-1916	
03.岩手県	みかみ かなえ 三上 夏苗	特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター 運営ディレクター	もりおか町家物語館 開館年 2014 年 浜藤ホール 100席/約134㎡ - - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 b. 1円～1,000万円未満
	No. 2	〒 020-0827 岩手県盛岡市鉾屋町10-8 TEL 019-654-2911 / FAX 019-654-2913	
07.福島県	かわの たくま 河野 拓馬	いわき市 いわき芸術文化交流館施設管理課 主査	いわき芸術文化交流館 開館年 2008 年 大ホール 1705席/9190.18㎡ 中劇場 687席/4405.59㎡ 小劇場 233席/2174.43㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 3	〒 970-8026 福島県いわき市平字三崎1-6 TEL 0246-22-8111 / FAX 0246-22-8181	
11.埼玉県	せりざわ げんき 芹澤 源生	公益財団法人さいたま市文化振興事業団 文化芸術振興部事業課 主事	さいたま市文化センター 開館年 1985 年 大ホール 2006席 小ホール 340席 多目的ホール 150席 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 4	〒 336-0024 埼玉県さいたま市南区根岸1丁目7-1 TEL 048-866-3467 / FAX 048-837-2572	
13.東京都	かとう ゆきこ 加藤 由希子	公益財団法人としま未来文化財団 事業企画課事業企画グループ	なし 開館年 - 年 - - - 自主事業 0 事業予算 0
	No. 5	〒 171-0022 東京都豊島区南池袋2-34-5 藤和第2ビル2階 TEL 03-3590-7118 / FAX 03-3984-0865	
14.神奈川県	のぼり あつふみ 昇 敦章	平塚市 市民部文化・交流課文化振興担当 主査	平塚文化芸術ホール（設計中） 開館年 2022 年 - - - 自主事業 0 事業予算 0
	No. 6	〒 254-8686 神奈川県平塚市浅間町9-1 TEL 0463-32-2235 / FAX 0463-21-9756	
20.長野県	ふかい しほ 深井 詩穂	上田市 総務係 主事	上田市交流文化芸術センター サントミュージゼ 開館年 2014 年 大ホール 1530席 小ホール 320席 大スタジオ 250㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
	No. 7	〒 386-0025 長野県上田市天神3丁目15-15 TEL 0268-27-2000 / FAX 0268-27-2310	
22.静岡県	こだま みなみ 兒玉 みなみ	公益財団法人焼津市振興公社 文化事業部焼津文化会館文化振興課 主事	焼津文化会館 開館年 1985 年 大ホール 1300席/2197㎡ 小ホール 600席/989㎡ - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 8	〒 425-8585 静岡県焼津市三ヶ名1550 TEL 054-627-3111 / FAX 054-628-5176	

23.愛知県	みやけ たく 三宅 拓	公益財団法人豊田市文化振興財団 豊田市民文化会館 書記	豊田市民文化会館 開館年 1981 年 大ホール 1708席 小ホール 436席 -
	No. 9	〒 471-0035 愛知県豊田市小坂町12-100 TEL 0565-33-7111 / FAX 0565-35-4801	自主事業 c. 11本~20本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満

23.愛知県	ながさか なほみ 長坂 奈保美	公益財団法人豊橋文化振興財団 穂の国とよはし芸術劇場PLAT事業制作部	穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 開館年 2013 年 主ホール 778席/698㎡ アートスペース 266席/85㎡ 創造活動室A 181㎡
	No. 10	〒 440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123 TEL 0532-39-8810 / FAX 0532-55-8192	自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上

23.愛知県	しもや のりき 下谷 憲己	長久手市 事業係 主任	長久手市文化の家 開館年 1998 年 森のホール 717席/1300㎡ 風のホール 298席/900㎡ 光のホール 82席/100㎡
	No. 11	〒 480-1166 愛知県長久手市野田農201 TEL 0561-61-3411 / FAX 0561-61-2510	自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満

24.三重県	はまぐち ひろか 濱口 展香	公益財団法人三重県文化振興事業団 三重県文化会館事業課音楽事業係	三重県総合文化センター 開館年 1994 年 大ホール 1903席/6655.3㎡ 中ホール 968席/4543.6㎡ 小ホール 285席/1515.8㎡
	No. 12	〒 514-0061 三重県津市一身田上津部田1234 TEL 059-233-1112 / FAX 059-233-1106	自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上

27.大阪府	まつもと みゆう 松本 美憂	公益財団法人茨木市文化振興財団 文化事業係	茨木市市民総合センター クリエイトセンター 開館年 1989 年 クリエイトセンター・センターホール 426席/744.77㎡ クリエイトセンター・多目的ホール(電動移動席) 165席/228.98㎡
	No. 13	〒 567-0888 大阪府茨木市駅前4丁目6-16 TEL 072-625-3055 / FAX 072-625-3036	自主事業 c. 11本~20本 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満

27.大阪府	やまもと けいすけ 山本 桂輔	公益財団法人河内長野市文化振興財団 管理グループ	河内長野市立文化会館 ラブリーホール 開館年 1992 年 大ホール 1308席 小ホール 464席 ギャラリー 180㎡
	No. 14	〒 586-0016 大阪府河内長野市西代町12-46 TEL 0721-56-6100 / FAX 0721-56-6111	自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上

32.島根県	うりざか ゆうさく 瓜坂 勇朔	公益財団法人しまね文化振興財団 施設利用課舞台振興課グループ 主事	島根県民会館 開館年 1968 年 大ホール 1537席/1540㎡ 中ホール 576席/226.6㎡
	No. 15	〒 690-0887 島根県松江市殿町158 TEL 0852-22-5510 / FAX 0852-24-0109	自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上

32.島根県	かすが ゆうすけ 春日 友輔	安来市 市民生活部文化スポーツ振興課 主事	安来市総合文化ホール アルテピア 開館年 2017 年 大ホール 1008席/783㎡ 小ホール 300席/450㎡
	No. 16	〒 692-8686 島根県安来市安来町878-2 TEL 0854-23-3039 / FAX 0854-23-3155	自主事業 c. 11本~20本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満

40.福岡県	かわい かおる 河井 薫	公益財団法人大野城まどかぴあ 文化芸術振興課 文化芸術振興担当	大野城まどかぴあ 開館年 1996 年 大ホール 798席/1,279㎡ 小ホール 118席/208㎡ 多目的ホール 300席/276㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 17	〒 816-0934 福岡県大野城市曙町2丁目3-1 TEL 092-586-4040 / FAX 092-586-4021	
40.福岡県	ふじなが ゆい 藤永 佑衣	公益財団法人北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課	北九州市立響ホール 開館年 1993 年 大ホール 720席 リハーサル室 173㎡ 研修室 50㎡ 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 18	〒 805-0062 福岡県北九州市八幡東区平野1-1-1 TEL 093-663-6661 / FAX 093-662-3028	
40.福岡県	もり ゆうや 森 雄哉	公益財団法人久留米文化振興会 施設課施設利用推進係	石橋文化センター 開館年 1956 年 石橋文化ホール 1077席/2026.5㎡ 文化センター共同ホール 467席/1472.97㎡ 小ホール 200席/324㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 19	〒 839-0862 福岡県久留米市野中町1015 TEL 0942-33-2271 / FAX 0942-39-7837	
40.福岡県	ほんご ようこ 本後 陽子	久留米市 事業制作課専門スタッフ職員	久留米シティプラザ 開館年 2016 年 ザ・グランドホール 1,514席/396.76㎡ 久留米座 399席/178.76㎡ Cボックス 144席/300㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 20	〒 830-0031 福岡県久留米市六ツ門町8-1 TEL 0942-36-3000 / FAX 0942-36-3087	
42.長崎県	さとう ともみ 佐藤 智美	長崎市 文化観光部文化振興課	長崎ブリックホール 開館年 1998 年 大ホール 2002席/1791㎡ 国際会議場 542席/486㎡ - 自主事業 b. 1本～10本 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満
	No. 21	〒 852-8104 長崎県長崎市茂里町2-38 TEL 095-842-3782 / FAX 095-842-3784	
44.大分県	いしまつ みちこ 石松 未千子	公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 企画普及課 事務員	iichiko総合文化センター 開館年 1996 iichikoグランシアタ 1966席/10400㎡ iichiko音の泉ホール 710席/5184㎡ -- 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 f. 1億円以上
	No. 22	〒 870-0029 大分県大分市高砂町2-33 TEL 097-533-4004 / FAX 097-533-4009	

(2) 自主事業コース

01.北海道	やすざわ よう 安澤 洋	公益財団法人札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部劇場事業課事業係 事務職員	札幌市民交流プラザ 開館年 2018 年 札幌文化芸術劇場hitaru 2302席/1535㎡ クリエイティブスタジオ 175席/448㎡ SCARTSコート 150席/165㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
	No. 1	〒 060-0001 北海道札幌市中央区北1条西1丁目 TEL 011-271-1950 / FAX 011-271-1949	
01.北海道	かわはら まなみ 河原 真奈美	公益財団法人札幌市芸術文化財団 コンサートホール事業部事業課事業係 事務職員	札幌コンサートホール 開館年 1997 年 大ホール 2008席/1920㎡ 小ホール 453席/610㎡ - - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
	No. 2	〒 064-0931 北海道札幌市中央区中島公園1-15 TEL 011-520-2000 / FAX 011-520-1575	
03.岩手県	なりた しの 成田 紫野	西和賀町 西和賀町教育委員会生涯学習課 地域おこし協力隊	西和賀町文化創造館銀河ホール 開館年 1993 年 銀河ホール 300席/3461.69㎡ Uホール 70席/825㎡ - - 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
	No. 3	〒 029-5511 岩手県和賀郡西和賀町上野々39地割195-2 TEL 0197-82-3240 / FAX 0197-82-2883	
06.山形県	さとう ありさ 佐藤 安里紗	特定非営利活動法人鶴岡市芸術文化協会 文化会館グループ 主事	荘銀タクト鶴岡 開館年 2018 年 大ホール 1120席/1700㎡ 小ホール 約150席/247㎡ - - 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
	No. 4	〒 997-0035 山形県鶴岡市馬場町11-61 TEL 0235-24-5188 / FAX 0235-25-7611	
09.栃木県	ほった かなめ 堀田 要	日本コロムビア株式会社 地域ビジネス開発室	道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣 開館年 2015 年 多目的ホール 380席/400㎡ 多目的広場 1192㎡ - - 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
	No. 5	〒 321-1261 栃木県日光市今市719-1 TEL 0288-25-7771 / FAX 0288-25-5560	
11.埼玉県	なかの ひろこ 中野 浩子	株式会社シアターワークショップ 秩父宮記念市民会館	秩父宮記念市民会館 開館年 2017 年 大ホールフォレスト 1007席/830㎡ けやきフォーラム 360㎡ - - 自主事業 c. 11本~20本 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
	No. 6	〒 368-8686 埼玉県秩父市熊木町8-15 TEL 0494-24-6000 / FAX 0494-23-2298	
11.埼玉県	たかはし さちえ 高橋 幸恵	公益財団法人人間市振興公社 人間市市民会館	人間市市民会館 開館年 1973 年 人間市市民会館 1086席/2814㎡ - - 自主事業 c. 11本~20本 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
	No. 7	〒 358-0003 埼玉県人間市豊岡3-10-10 TEL 04-2964-2411 / FAX 04-2965-7667	
11.埼玉県	やまもと すみと 山本 澄	富士見市 地域文化振興課 主任	富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ 開館年 2002 年 メインホール 802席/236㎡ マルチホール 255席/87.1㎡ 展示・会議室 175㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満
	No. 8	〒 354-8511 埼玉県富士見市大字鶴馬1800-1 TEL 049-251-2711 / FAX 049-254-2000	

13.東京都	たけうち えみこ	公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団 くにたち市民芸術小ホール 事業担当	くにたち市民芸術小ホール	
	竹内 恵美子		開館年 1987 年	ホール 336席/362㎡
No.	〒 186-0003	東京都国立市富士見台2-48-1 TEL 042-574-1515 / FAX 042-574-1513	スタジオ	70席/128㎡
9			音楽練習室	50席/97㎡
			自主事業	d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満
13.東京都	まつもと ちかこ	公益財団法人としま未来文化財団 事業企画課 事業企画グループ	なし	
	松本 智香子		開館年 0 年	-
No.	〒 171-0022	東京都豊島区南池袋2-34-5 藤和第2ビル2階 TEL 03-3590-7118 / FAX 03-3984-0865	-	-
10			-	-
			自主事業	0 事業予算 0
14.神奈川県	しもだ たいち	公益財団法人神奈川芸術文化財団 神奈川県民ホール事業課 主任	神奈川県民ホール	
	下田 太一		開館年 1975 年	大ホール 2493席/1550㎡
No.	〒 231-0023	神奈川県横浜市中区山下町3-1 TEL 045-633-3686 / FAX 045-641-3184	小ホール	433席/321㎡
11			ギャラリー	1311.2㎡
			自主事業	d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
23.愛知県	ふるい しょうへい	公益財団法人豊田市文化振興財団 豊田市コンサートホール・能楽堂 主事	豊田市コンサートホール・能楽堂	
	古井 祥平		開館年 1998 年	豊田市コンサートホール 1004席/870㎡
No.	〒 471-0025	愛知県豊田市西町1-200 TEL 0565-35-8200 / FAX 0565-37-0011	豊田市能楽堂	458席/500㎡
12			多目的ルーム	90㎡
			自主事業	d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
23.愛知県	いしだ あきこ	公益財団法人豊橋文化振興財団 穂の国とよはし芸術劇場PLAT 事業制作部	穂の国とよはし芸術劇場PLAT	
	石田 晶子		開館年 2013 年	主ホール 778席/698㎡
No.	〒 440-0887	愛知県豊橋市西小田原町123 TEL 0532-39-8810 / FAX 0532-55-8192	アートスペース	266席/85㎡
13			-	-
			自主事業	d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
23.愛知県	たじま ちなつ	公益財団法人名古屋市文化振興事業団 名古屋市中村文化小劇場	名古屋市中村文化小劇場	
	田島 千捺		開館年 1992 年	中村文化小劇場 350席/1450.57㎡
No.	〒 453-0053	愛知県名古屋市中村区中村町字茶ノ木25 TEL 052-411-4565 / FAX 052-411-3253	-	-
14			-	-
			自主事業	d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満
24.三重県	たじま しず	公益財団法人三重県文化振興事業団 三重県文化会館 事業課	三重県総合文化センター	
	田島 静		開館年 1994 年	大ホール 1903 席/6655.3㎡
No.	〒 514-0061	三重県津市上津部田1234 TEL 059-233-1112 / FAX 059-233-1106	中ホール	968席/4543.6㎡
15			小ホール	285席/1515.8㎡
			自主事業	d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
27.大阪府	すぎもと ゆか	枚方市 文化振興課 主任	枚方市総合文化芸術センター	
	杉本 裕香		開館年 2021 年	大ホール 1468席/2018㎡
No.	〒 573-8666	大阪府枚方市大垣内町2丁目1-20 TEL 072-841-1410 / FAX 072-841-1278	小ホール	325席/576㎡
16			イベントホール	200席/191㎡
			自主事業	0 事業予算 0

34.広島県	はなおか みき 鼻岡 美樹	公益財団法人広島市文化財団 アステールプラザ 事業推進員	JMSアステールプラザ 開館年 1991 年 大ホール 1204席 中ホール 547席 多目的スタジオ 224席/285㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 17	〒 730-0812 広島県広島市中区加古町4-17 TEL 082-244-8000 / FAX 082-246-5808	
36.徳島県	たにさき なつこ 谷先 奈津子	公益財団法人徳島県文化振興財団 事業課 主事	あわぎんホール（徳島県郷土文化会館） 開館年 1971 年 ホール 814席 小ホール 288㎡ 大会議室 533㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 18	〒 770-0835 徳島県徳島市藍場町2-14 TEL 088-622-8121 / FAX 088-622-8123	
40.福岡県	やました りな 山下 璃奈	公益財団法人北九州市芸術文化振興財団 北九州芸術劇場 舞台事業課	北九州芸術劇場 開館年 2003 年 大ホール 1269席/8026㎡ 中劇場 700席/5496㎡ 小劇場 216席/1285㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
	No. 19	〒 803-0812 福岡県北九州市小倉北区室町1丁目1-11 TEL 093-562-2620 / FAX 093-562-2633	

V 参加者リスト

2 ステージラボ いわきセッション

(1) ホール入門コース

01.北海道	まえかわ せいたろう 前川 清太郎	公益財団法人札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部 管理課 管理係	札幌市民交流プラザ 開館年 2018 年 札幌文化芸術劇場hitaru 2302席/1460㎡ クリエイティブスタジオ 228席/448㎡ スカーツコート 130席/165㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
	No. 1	〒 060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 TEL 011-271-1000 / FAX 011-242-5656	
02.青森県	てらち なつみ 寺地 菜摘	八戸ポータルミュージアム 企画運営グループ・コーディネーター	八戸ポータルミュージアム 開館年 2011 年 シアター1 100席/126㎡ シアター2 120席/141㎡ ギャラリー3 44㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
	No. 2	〒 031-0032 八戸市三日町11-1 TEL 0178-22-8200 / FAX 0178-22-8808	
03.岩手県	ただ はるか 多田 遥	公益財団法人盛岡市文化振興事業団 盛岡市都南文化会館 主事補	盛岡市都南文化会館（キャラホール） 開館年 1993 年 大ホール 1042席/8623㎡ 自主事業 b. 1本～10本 事業予算 b. 1円～1,000万円未満
	No. 3	〒 020-0834 盛岡市永井24-10-1 TEL 019-637-6611 / FAX 019-637-8700	
03.岩手県	たぐち まこと 田口 誠	公益財団法人盛岡市文化振興事業団 企画事業部 主事補	盛岡市民文化ホール 開館年 1998 年 大ホール 1,510席/1233㎡ 小ホール 350席/380㎡ 展示ホール 576㎡ 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
	No. 4	〒 020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 TEL 019-621-5151 / FAX 019-621-5101	
06.山形県	いとう れいこ 伊藤 玲子	NPO法人鶴岡市芸術文化協会 文化会館グループ 主事	荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館) 開館年 2018 年 大ホール 1120席/261㎡ 小ホール 180席/169㎡ 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
	No. 5	〒 997-0035 鶴岡市馬場町11-61 TEL 0235-24-5188 / FAX 0235-25-7611	
07.福島県	やまぐち かずは 山口 万葉	いわき市 いわき芸術文化交流館 施設管理課	いわき芸術文化交流館 開館年 2008 年 大ホール 1705席/9190.18㎡ 中劇場 687席/4405.59㎡ 小劇場 233席/2174.43㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 6	〒 970-8026 いわき市平字三崎1番地の6 TEL 0246-22-8111 / FAX 0246-22-8181	
08.茨城県	まつうら さとみ 松浦 理実	公益財団法人日立市民科学文化財団 ホール事業課・主事	日立シビックセンター 開館年 1990 年 音楽ホール 825席/780㎡ 多用途ホール 200席/256㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
	No. 7	〒 317-0073 日立市幸町1-21-1 TEL 0294-24-7755 / FAX 0294-24-7979	
09.栃木県	すげがわ はるか 助川 はる香	公益財団法人うつのみや文化創造財団 事業推進課 事業推進グループ	宇都宮市文化会館 開館年 1980 年 大ホール 2000席/2670㎡ 小ホール 500席/733㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 8	〒 320-8570 宇都宮市明保野町7-66 TEL 028-636-2121 / FAX 028-635-3593	

09.栃木県	やこう たすく 矢古宇 佑	公益財団法人とちぎ未来づくり財団栃木県総合文化センター 利用サービス課 主事	栃木県総合文化センター 開館年 1991 年 メインホール 1604席/舞台 338㎡ サブホール 512席/舞台 225㎡
	No. 9	〒 320-0065 宇都宮市本町1-8 TEL 028-643-1000 / FAX 028-643-1019	自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
10.群馬県	かねこ さき 金子 紗希	公益財団法人 桐生市スポーツ文化事業団 文化事業部 文化事業課 文化振興係	桐生市市民文化会館 開館年 1997 年 シルクホール 1527席/1946㎡ 小ホール 300席/757㎡
	No. 10	〒 376-0024 桐生市織姫町2-5 TEL 0277-40-1500 / FAX 0277-40-1126	自主事業 d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
11.埼玉県	まつむら たけお 松村 剛雄	秩父市 市民部秩父宮記念市民会館 主事補	秩父宮記念市民会館 開館年 2017 年 大ホールフォレスト 1007席/830㎡ けやきフォーラム 360㎡
	No. 11	〒 368-8686 秩父市熊木町8-15 TEL 0494-24-6000 / FAX 0494-23-2298	自主事業 c. 11本～20本 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満
16.富山県	いとう つばさ 伊藤 翼	公益財団法人富山県文化振興財団 新川文化ホール ホール担当 主事	新川文化ホール 開館年 1994 年 大ホール 1186 席/295.2㎡ 小ホール 297席/105.6㎡ 展示ホール 703㎡
	No. 12	〒 937-0853 魚津市宮津110番 TEL 0765-23-1123 / FAX 0765-23-0534	自主事業 d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
18.福井県	だいこく えり 大黒 恵理	大野市役所生涯学習課 主査	大野市文化会館 開館年 1966 年 大ホール 726席/0㎡
	No. 13	〒 912-0087 大野市城町9-1 TEL 0779-65-5590 / FAX 0779-66-2885	自主事業 b. 1本～10本 事業予算 b. 1円～1,000万円未満
21.岐阜県	みずたに ともはる 水谷 智晴	一般財団法人岐阜市公共ホール管理財団 副主任	岐阜市文化センター 開館年 1984 年 催し広場 1275㎡ 小劇場 500席/(舞台)269㎡
	No. 14	〒 500-8842 岐阜市金町5-7-2 TEL 058-262-6200 / FAX 058-262-6229	自主事業 b. 1本～10本 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
22.静岡県	うえまつ かなこ 植松 芳奈子	公益財団法人富士市文化振興財団 お客様サービスグループ	富士市文化会館ロゼシアター 開館年 1993 年 大ホール 1632席/945(舞台) ㎡ 中ホール 700席/740(舞台)㎡ 小ホール 326席/268(舞台)㎡
	No. 15	〒 416-0953 富士市蓼原町1750番地 TEL 0545-60-2510 / FAX 0545-60-2505	自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
23.愛知県	かが ちなつ 加賀 茅捺	公益財団法人 豊橋文化振興財団 事業制作部	穂の国とよはし芸術劇場PLAT 開館年 2013 年 主ホール 778席/698㎡ アートスペース 266席/85㎡
	No. 16	〒 440-0887 豊橋市西小田原町123番地 TEL 0532-39-8810 / FAX 0532-55-8192	自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上

28.兵庫県	はしもと みや 橋本 実弥	公益財団法人神戸市民文化振興財団 総務・施設運営担当	神戸アートビレッジセンター 開館年 1996 年
	No. 17 〒 650-0811 神戸市兵庫区新開地5-3-14 神戸アートビレッジセンター TEL 078-512-5500 / FAX 078-512-5356		KAVCホール 216席/303㎡ KAVCシアター 94席/129㎡ 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
40.福岡県	あべ みゆき 安部 美幸	公益財団法人筑後市文化振興公社 事業係	サザンクス筑後 開館年 1995 年
	No. 18 〒 833-0047 筑後市若菜1104 TEL 0942-54-1200 / FAX 0942-54-1205		大ホール 1311席/772㎡ 小ホール 504席/490㎡ イベントホール 198席/178㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
40.福岡県	いとう あやか 伊藤 絢加	久留米市 市民文化部久留米シティプラザ事業制作課	久留米シティプラザ 開館年 2016 年
	No. 19 〒 830 - 0022 久留米市城南町15番地3 TEL 0942 - 36 - 3000 / FAX 0942 - 36 - 3087		ザ・グラントホール 1514席/396.76㎡ 久留米座 399席/178.76㎡ Cボックス 144席/300㎡ 自主事業 c. 11本~20本 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満
40.福岡県	むらた りかこ 村田 理華子	公益財団法人北九州市芸術文化振興財団 北九州芸術劇場 劇場管理課	北九州芸術劇場 開館年 2003 年
	No. 20 〒 803-0812 北九州市小倉北区室町1丁目1-11 TEL 093-562-2655 / FAX 093-562-2588		大ホール 1269席/8.026㎡ 中劇場 700席/5.496㎡ 小劇場 96~216席/1.285㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上

(2) 自主事業（音楽）コース

01.北海道	かつもと みほ 勝本 望帆	公益財団法人 札幌市芸術文化財団 コンサートホール事業部 事業課 営業係 事務職員	札幌コンサートホールKitara 開館年 1997 年 大ホール 2,008席 小ホール 453席
	No. 1	〒 064-0931 札幌市中央区中島公園1-15 TEL 011-520-2000 / FAX 011-520-1575	自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
01.北海道	まつもと さくらこ 松本 桜子	公益財団法人札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部センター事業課事業係 事務職員	札幌市民交流プラザ 開館年 2018 年 札幌文化芸術劇場hitaru 2302席/1535㎡ クリエイティブスタジオ 175席/448㎡ SCARTSコート 150席/165㎡
	No. 2	〒 060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目札幌市民交流プラザ TEL 011-271-1955 / FAX 011-271-1956	自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
03.岩手県	あんどう あやの 安藤 綾乃	一般財団法人北上市文化創造 企画事業課	北上市文化交流センターさくらホール 開館年 2003 年 大ホール 1406席/1560㎡ 中ホール 461席/722㎡ 小ホール 240席/226㎡
	No. 3	〒 024-0084 北上市さくら通り2-1-1 TEL 0197-61-3300 / FAX 0197-61-3301	自主事業 c. 11本～20本 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
04.宮城県	いぬい ゆうき 乾 祐樹	加美町役場 主事	中新田文化会館（中新田パッハホール） 開館年 1981 年 大ホール 684席/2349.72㎡
	No. 4	〒 981-4262 加美郡加美町一本杉101 TEL 0229-63-7367 / FAX 0229-63-7364	自主事業 c. 11本～20本 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満
08.茨城県	すぎうら りさ 杉浦 里紗	公益財団法人いばらき文化振興財団 事業推進課 主事	茨城県立県民文化センター（ザ・ヒロサワ・シティ会館） 開館年 1966 年 大ホール 1514席/1434㎡ 小ホール 386席/408㎡
	No. 5	〒 310-0851 水戸市千波町東久保697 TEL 029-305-0161 / FAX 029-305-0163	自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満
08.茨城県	なかの まさき 中野 将生	公益財団法人日立市民科学文化財団 ホール事業課 主事	日立シビックセンター 開館年 1990 年 音楽ホール 825席/780㎡ 多用途ホール 200席/256㎡
	No. 6	〒 317-0073 日立市幸町1-21-1 TEL 0294-24-7755 / FAX 0294-24-7979	自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
13.東京都	やまだ のぞみ 山田 望	公益財団法人としま未来文化財団 総務部 事業企画課 事業企画グループ	事業企画グループのため管理施設なし 開館年 - 年
	No. 7	〒 170-0013 豊島区東池袋1丁目20番10号としま区民センター4F TEL 03-3590-7118 / FAX 03-3984-0865	自主事業 - 事業予算 -
13.東京都	いしやま さとみ 石山 智美	公益財団法人大田区文化振興協会 文化芸術振興課	大田区民プラザ 開館年 1987 年 大ホール 509席/901.3㎡ 小ホール 170席/198㎡ 展示室 180席/372.9㎡
	No. 8	〒 146-0092 大田区下丸子3-1-3 TEL 03-3750-1611 / FAX 03-3750-1150	自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満

15.新潟県	なかこ まさき 中粉 将樹	公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 りゅーとびあ 事業企画部 音楽企画課	りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 開館年 1998 年 コンサートホール 1884席
	No. 9 〒 951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2 TEL 025-224-5614 / FAX 025-224-5626		劇場 868席 能楽堂 382席 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
23.愛知県	いとう かおり 伊藤 かおり	公益財団法人かすがい市民文化財団 施設サービスグループ スタッフ	文化フォーラム春日井（春日井市文芸館）／春日井市民会館 開館年 1966 年 春日井市民会館 1022席/2366㎡
	No. 10 〒 486-0844 春日井市鳥居松町5-44 TEL 0568-85-6868 / FAX 0568-82-0213		文化フォーラム春日井・視聴覚ホール 198席/274㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
23.愛知県	ながさか なほみ 長坂 奈保美	公益財団法人豊橋文化振興財団 穂の国とよはし芸術劇場PLAT 事業制作部	穂の国とよはし芸術劇場PLAT 開館年 2013 年 主ホール 778席/698㎡
	No. 11 〒 440-0887 豊橋市西小田原町123番地 TEL 0532-39-8810 / FAX 0532-55-8192		アートスペース 266席/85㎡ 創造活動室A 181㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
28.兵庫県	たぐち まさお 田口 正夫	公益財団法人西宮市文化振興財団 事業課・専門職員	西宮市民会館アミティホール 開館年 1967 年 アミティホール 1180席/0㎡
	No. 12 〒 662-0832 西宮市六湛寺町10-11 TEL 0798-33-3146 / FAX 0798-33-3455		自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満
40.福岡県	いちばら かなえ 市原 奏恵	公益財団法人北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 事業係	北九州市立響ホール 開館年 1993 年 大ホール 720席
	No. 13 〒 805-0061 北九州市八幡東区平野一丁目1番1号 TEL 093-663-6661 / FAX 093-662-3028		リハーサル室 173㎡ 研修室 50㎡ 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
42.長崎県	ちば あやか 千葉 彩夏	長崎市 市民生活部文化振興課	長崎ブリックホール 開館年 1998 年 大ホール 2002席/1791㎡
	No. 14 〒 852-8104 長崎市茂里町2-38 ブリックホール4階 TEL 095-842-3782 / FAX 095-842-3784		国際会議場 426席/486㎡ 自主事業 b. 1本～10本 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満
43.熊本県	はらだ けんた 原田 健太	公益財団法人熊本県立劇場 総務グループ 主任	熊本県立劇場 開館年 1983 年 コンサートホール 1810席/1260㎡
	No. 15 〒 862-0970 熊本市中央区大江2丁目7-1 TEL 096-363-2234 / FAX 096-371-5246		演劇ホール 1172席/780㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
45.宮崎県	かりや さおり 假屋 沙織	公益財団法人都城市文化振興財団 事業課	都城市総合文化ホール 開館年 2006 年 大ホール（きりしま） 1461席/1896㎡
	No. 16 〒 885-0024 都城市北原町1106-100 TEL 0986-23-7140 / FAX 0986-23-7143		中ホール（あさぎり） 682席/1073㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満

(3) 公立ホール・劇場マネージャーコース

01.北海道	いけだ のぞむ 池田 望	公益財団法人 札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部 広報営業課 広報営業係長	札幌市民交流プラザ 開館年 2018 年 札幌文化芸術劇場hitaru 2,302席/1,460㎡ クリエイティブスタジオ 228席/448㎡ SCARTSコート 130席/165㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
	No. 1	〒 060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 TEL 011-271-1948 / FAX 011-271-1949	
03.岩手県	ひらで たけし 平出 武	公益財団法人 盛岡市文化振興事業団 盛岡市市民文化会館 副館長	盛岡市市民文化会館 (姫神ホール) 開館年 1995 年 大ホール 603席/4,844㎡ 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
	No. 2	〒 028-4132 盛岡市洪民字鶴塚55 TEL 019-683-3526 / FAX 019-683-3528	
08.茨城県	やまぐち たかひろ 山口 高容	小美玉市 市民生活部生活文化課 係長	小美玉市四季文化館 (みの〜れ) 開館年 2002 年 大ホール 600席 小ホール 300席 練習室1 50.8㎡ 自主事業 c. 11本~20本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
	No. 3	〒 319-0132 小美玉市部室1069 TEL 0299-48-4466 / FAX 0299-48-4467	
09.栃木県	たさき ゆきえ 田崎 幸枝	公益財団法人うつのみや文化創造財団 事業推進課 事業推進グループ	宇都宮市文化会館 開館年 1980 年 大ホール 2000席/2670㎡ 小ホール 500席/733㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満
	No. 4	〒 320-8570 宇都宮市明保野町7-66 TEL 028-636-2121 / FAX 028-635-3593	
13.東京都	しんじ えみ 進士 恵美	公益財団法人大田区文化振興協会 文化芸術振興課 広報・広聴担当係長	大田区民プラザ 開館年 1987 年 大田区民プラザ 大ホール 509席/901.3㎡ 大田区民プラザ 小ホール 170席/198㎡ 大田区民プラザ 展示室 200席/372.9㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満
	No. 5	〒 146-0092 大田区下丸子3-1-3 大田区民プラザ内 TEL 03-3750-1611 / FAX 03-3750-1150	
23.愛知県	さかもと きよじ 坂本 享司	一般財団法人 こまき市民文化財団 事業グループ兼広報営業グループ主査	小牧市市民会館 開館年 1971 年 大ホール 1334席/1024㎡ 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
	No. 6	〒 485-0041 小牧市小牧2丁目107番地 TEL 0568-71-9700 / FAX 0568-77-8207	
28.兵庫県	ごんだ やすゆき 権田 康行	公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団 伊丹市立文化会館 館長	伊丹市立文化会館 開館年 1998 年 大ホール 1202席/432㎡ 中ホール 260席/230㎡ 多目的ホール 150席/180㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
	No. 7	〒 664-0895 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号 TEL 072-778-8788 / FAX 072-778-8585	
28.兵庫県	はやし まさき 林 正樹	公益財団法人 神戸市民文化振興財団 総務チーフ	神戸アートビレッジセンター 開館年 1996 年 KAVCホール 216席/303㎡ KAVCシアター 94席/129㎡ 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
	No. 8	〒 652-0811 神戸市兵庫区新開地5-3-14神戸アートビレッジセンター TEL 078-512-5500 / FAX 078-512-5356	

令和元年度ステージラボ

～公共ホール等企画運営ワークショップ～

事業報告書

編集・発行 一般財団法人地域創造
〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11
オリックス赤坂2丁目ビル9階
電話 03-5573-4050
ファクシミリ 03-5573-4060

発行日 令和2（2020）年4月発行

